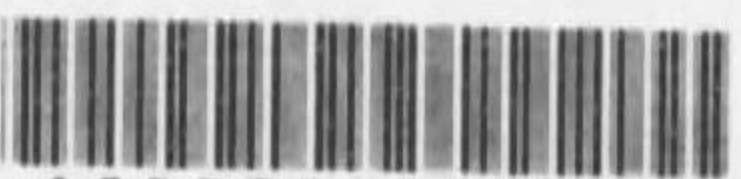


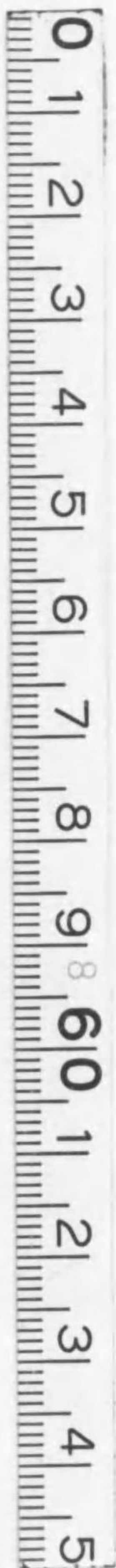
97  
392

帝國學士院 昭和三年五月  
附 帝國學士院名簿  
學術研究獎勵資金 其二  
其後事業費覽

97-392



1200501340497



始



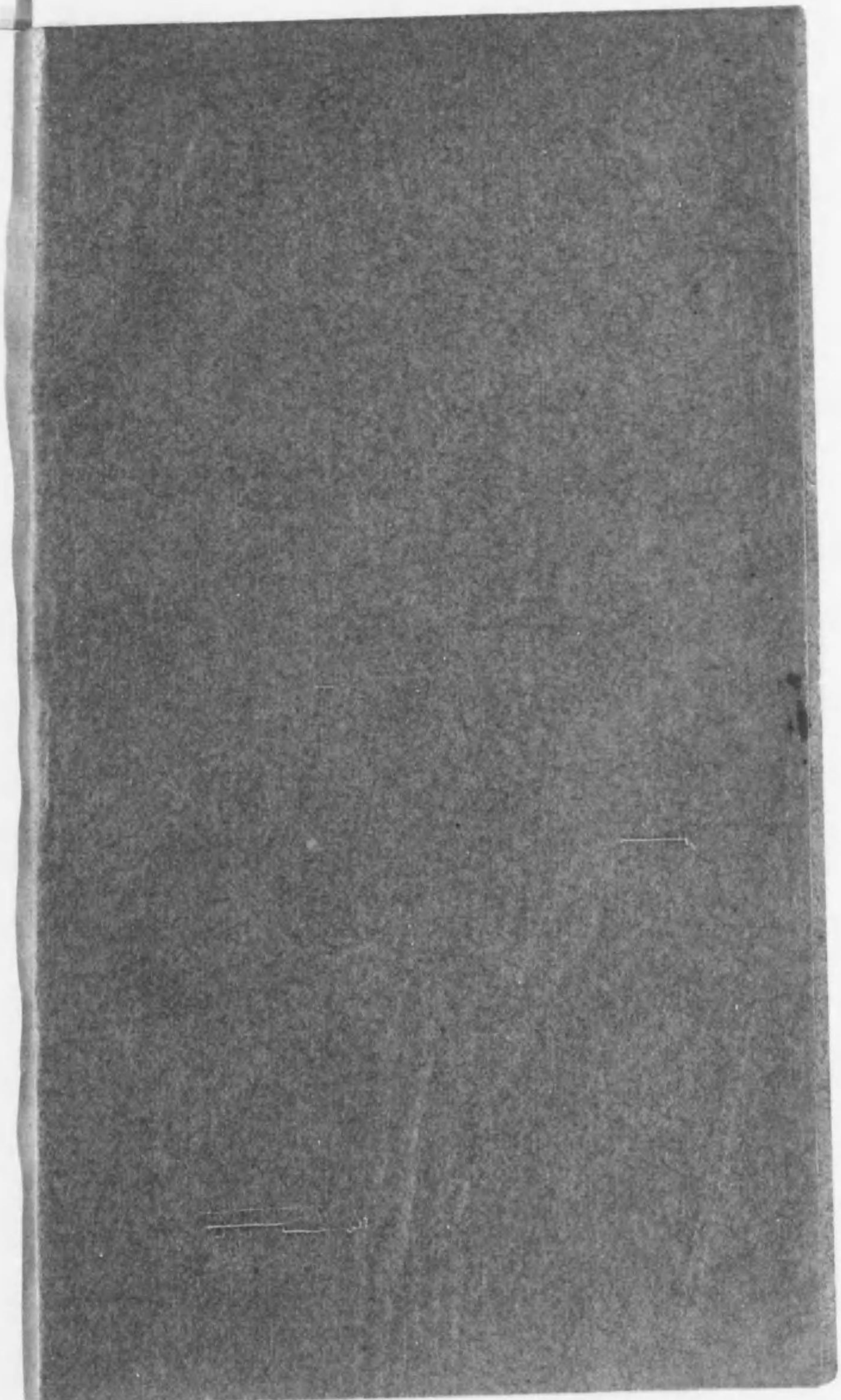
(昭和三年五月始調)

昭和三年

帝國學士院一覽



帝 國 學 士 院 會 館



帝國學士院一覽

目次

本院會館寫真

沿革略

帝國學士院規程

帝國學士院會則

各部分科並ニ定員

帝國學士院授賞規則

恩賜賞ニ關スル決議

帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律

第八 貴族院帝國學士院會員互選規則

第九 貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票

目次

一

院 寄贈本



一葉  
一頁  
三四頁  
三五頁  
三六頁  
三九頁  
四五頁  
四五頁

|     |                                      |     |
|-----|--------------------------------------|-----|
| 第十  | 用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令                | 五四頁 |
| 第十一 | 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議                      | 五四頁 |
| 第十一 | 條件附寄附金ニ關スル決議                         | 五六頁 |
| 第十二 | 藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議                      | 五六頁 |
| 第十三 | 末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決議             | 五七頁 |
| 第十四 | 松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議                 | 五八頁 |
| 第十五 | 大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議 | 五九頁 |
| 第十六 | 小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議                 | 六〇頁 |
| 第十七 | 學術研究費補助ニ關スル決議                        | 六一頁 |
| 第十八 | 高松宮家へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎勵資金受領候補者選定ニ關スル決議  | 六三頁 |
| 第十九 | 學術研究費補助推薦ニ關スル決議                      | 六三頁 |

|      |                     |      |
|------|---------------------|------|
| 第二十  | 出版ニ關スル決議            | 六四頁  |
| 第二十一 | 帝國學士院紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議 | 六五頁  |
| 第二十二 | 學術研究獎勵金運用委員會規則      | 六六頁  |
| 第二十三 | 學術研究獎勵金             | 六八頁  |
| 第二十四 | 役員                  | 七九頁  |
| 第二十五 | 會員及客員               | 七九頁  |
| 第二十六 | 常設委員及事業擔當會員囑託員      | 八六頁  |
| 第二十七 | 事務職員                | 九〇頁  |
| 第二十八 | 提出論文                | 九一頁  |
| 第二十九 | 出版物                 | 一〇三頁 |
| 第三十  | 授賞事項及當該受賞者          | 一〇四頁 |
| 第三十一 | 藤田男爵獎學費受費者          | 一一四頁 |
| 第三十二 | 子爵夫人末松生子羅馬法獎勵獎學品受品者 | 一一五頁 |
| 第三十三 | 補助研究事項              | 一一六頁 |

|      |                                  |            |
|------|----------------------------------|------------|
| 第三十四 | 有栖川宮記念獎學資金受領候補者トシテ高松宮家へ補助推薦ノ研究事項 | 一二六頁       |
| 第三十五 | 東照宮三百年祭記念會へ補助推薦ノ研究事項             | 一二六頁       |
| 第三十六 | 帝國學士院前役員                         | 一二八頁       |
| 第三十七 | 帝國學士院前會員及客員                      | 一二九頁       |
| 第三十八 | 元東京學士會院役員                        | 一三四頁       |
| 第三十九 | 元東京學士會院會員及客員                     | 一三五頁       |
| 第四十  | 昭和三年四月十四日授賞式ニ於ケル櫻井院長ノ演說          | 一四〇頁       |
| 第四十一 | 本院會館工事概要<br>本院敷地及建物略圖            | 一四五頁<br>一葉 |

# 帝國學士院一覽

(昭和三年五月始調)

## 第一 沿革略

帝國學士院ハ元東京學士會院ト稱シ其ノ起源沿革左ノ如シ

97-392



明治十一年〇十二月 文部卿西郷從道當時文部省雇顧問タリシ米人  
 毛レ一氏ノ建議ニ由リ學士會院ノ必要ヲ認メ乃チ東京學士會院規  
 則大意及選舉案ヲ西周、加藤弘之、神田孝平、津田真道、中村正直、福澤諭  
 吉、箕作秋坪ノ七名ニ諮詢シ其ノ協賛ヲ得テ之ヲ創設スルニ至レリ  
 同十二年〇一月 文部大輔田中不二麿(文部卿)右西周以下ノ七名ヲ  
 東京學士會院ノ會員ニ選舉シ其ノ報帖ヲ交付シ文部省内修文館ヲ  
 假用シテ東京學士會院ヲ置ク〇四月 東京學士會院規則ヲ定ム其  
 ノ要項ハ教育ノ事ヲ討議シ學術技藝ヲ評論スルヲ目的トシ會員ハ  
 四十名ヲ限リ會院ニ於テ選舉シ文部卿ノ認可ヲ經ルノ制ナリ〇五  
 月 東京學士會院雜誌ヲ發行ス

同 十三年○九月 會院ヲ湯島昌平館ニ移ス  
 同 十四年○四月 會院ヲ修文館ニ移ス  
 同 十五年○一月 會院ヲ再ヒ昌平館ニ移ス○十二月 昌平館類焼  
 ニ罹リ本院會場器具及藏書百七十部ヲ燒失ス尋テ本院ヲ修文館ニ  
 假設ス  
 同 十七年○十月 會院ヲ東京教育博物館(上野)ニ移ス  
 同 十八年○二月 文部卿大木喬任東京學士會院組織大綱ヲ示ス其  
 ノ要旨ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ圖ルニ在リ會員ハ  
 帝室ノ御選ニ係ル者十五名會員ノ推選ニ係ル者二十五名ヨリ成ル  
 等ナリ○四月 舊規則ヲ廢シ更ニ右大綱ニ基キ會則ヲ定メ同年九  
 月ヨリ實施ス  
 同 十九年○一月 會員ノ講演ヲ公開ス○十一月 會院ヲ東京教育  
 博物館構内新築館(上野)ニ移ス  
 同 二十三年○十月 勅令第二百六十四號ヲ以テ東京學士會院規程

發布○十一月 文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ定ム  
 同 二十八年○三月 勅令第十七號ヲ以テ東京學士會院規程補則發  
 布

同 三十三年○五月 皇太子殿下御婚儀奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス  
 同 三十四年○六月 定期刊行ノ東京學士會院雜誌ヲ廢シ同年七月  
 ヨリ東洋學藝社ト契約シ毎月講演ノ論說及記事等ハ同社ノ雜誌ニ  
 掲載スルコト、ス(後五年ニシテ之ヲ解ク)  
 同 三十九年○六月 勅令第四百四十九號ヲ以テ帝國學士院規程發布  
 ○七月 文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ定ム○役員ノ選舉ヲ行ヒ院  
 長ニ加藤弘之幹事ニ重野安釋、第一部々長ニ穗積陳重、第二部々長ニ  
 男爵菊池大麓當選就任ス○和算史調査ノ件ヲ議決シ同月ヨリ着手  
 ス○十二月 會則ヲ改正ス○帝國學士院ハ萬國學士院聯合會ニ加  
 入ス  
 同 四十年○四月 會員重野安釋、同男爵菊池大麓、國維也納府ニ於

ケル第三回萬國學士院聯合會へ委員トシテ參列被仰付○七月 出版ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ議定ス○十一月 會則ヲ追加ス○出版ニ關スル決議ヲ修正ス○十二月 帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ議定ス

同 四十一年○六月 伊能忠敬測地事蹟ヲ調査スルコトヲ議決シ同年八月ヨリ着手ス

同 四十二年○一月 燃黎室記述調査ノ件ヲ議決シ同月ヨリ着手ス

○羅馬法ニ關スル書籍ノ翻譯出版ノ件ヲ議決ス○三月 前年着手シタル假名遣及假名字體沿革史料ノ出版成ル○四月 哲學字彙刊行ノ件ヲ議決ス○六月 會員中島力造へ本院會員ノ代表者トシテライプチヒ大學創立五百年祝賀式ニ參列ヲ委囑スヘキコトヲ議決ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ菊池大麓幹事ニ宮崎道三郎第一部々長ニ穗積陳重第二部々長ニ古市公威當選シ七月就任ス

同 四十三年○四月 會員櫻井錠二ヲ伊國羅馬府ニ於ケル第四回萬

國學士院聯合大會へ本院代表委員トシテ參列セシムル件ヲ議決ス○五月 會員三浦謹之助へ本院會員ノ代表者トシテベルリン大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 左ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院ノ目的ヲ遂行スル爲メ普ク學術ノ研究ヲ獎勵スル旨趣ヲ以テ授賞ノ制ヲ定メントスルノ計畫有之候趣被聞食特ニ賞典資トシテ本年ヨリ十箇年間年々金貳千圓下賜候事

明治四十三年七月五日

宮 内 省

○十月本院授賞規則ヲ定ム  
同 四十四年○二月 恩賜賞ニ關スル決議ヲ議定ス(四月追加議決)○三月 法律第三十八號ヲ以テ帝國學士院學術獎勵金特別會計法發布○勅令第六十九號ヲ以テ帝國學士院學術獎勵金特別會計規則發布○五月 恩賜賞々牌及同賞記ニ菊花御紋章附着ノ儀ヲ允許セララル○六



月 會員大森房吉へ本院會員ノ代表者トシテプレスラウ大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 初メテ授賞式ヲ行フ(受賞者等別項ニ記ス以下同)○十月 男爵三井八郎右衛門及男爵岩崎久彌ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(寄附金第一號)○十一月 出版ニ關スル決議ヲ修正ス○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ議定ス○十二月 帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ廢シ更ニ帝國學士院紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議ヲ議定ス

大同 四十五年○五月 第二回授賞式舉行○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ修正ス○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ菊池大麓幹事ニ宮崎道三郎第一部々長ニ穂積陳重第二部々長ニ古市公威當選シ七月就任ス○十月 工學博士藥學博士高峯讓吉ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第三號)○十二月 男爵住友吉左衛門ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第四號)

大正二年○四月 會員坪井正五郎ヲ露國聖彼得堡得ニ於ケル第五回萬

國學士院聯合大會へ本院代表委員トシテ參列セシムル件ヲ議決ス○五月 本年度學術研究費補助ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ議決ヲ省略シ補助事項ハ別項ニ掲ク)○七月 第三回授賞式舉行○幹事宮崎道三郎辭任ニ付補缺選舉ヲ行ヒ櫻井錠二當選シ同月就任ス○十二月 古河虎之助ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第五號)

同 三年○三月 萬國學士院聯合會評議員改選ニ付院長男爵菊池大麓第一部々長穂積陳重ヲ評議員ニ選定ス○五月 本年度學術研究費補助ノ件ヲ議決ス(以下毎年々同項ノ議決略ス)○七月 第四回授賞式舉行○十一月 著者名ノ書方ニ關スル件ヲ議決ス○十二月 勅令二百五十八號ヲ以テ帝國學士院會員ハ勅任官ヲ以テ待遇セララルヘキ旨公布

同 四年○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ菊池大麓幹事ニ櫻井錠二第一部々長ニ穂積陳重第二部々長ニ古市公威當選シ七月就任ス○六月 法律第十二號ヲ以テ帝國學士院學術獎勵金特別會計法ヲ廢止シ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル金額ハ之ヲ院長ニ交付シ經理ヲ委

任スルコトヲ得ヘキ旨公布(施行期大正五年四月一日) ○七月 第五回授賞式舉行  
 ○十月 男爵藤田平太郎ヨリ申出ニ係ル學術研究獎勵ノ爲獎學資金並ニ羅馬法研究出版費各寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第六號) ○十一月御即位ノ大禮奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス ○院長菊池大麓、本院會員總代幹事櫻井錠二御即位ノ大禮式ニ參列ス ○十二月 東照宮三百年祭記念會ヨリ學術研究費補助ヲ要スヘキモノ、推薦方ノ依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス(以下毎年推薦ノ事項ハ別項ニ議ル)  
 同 五年 ○四月 會則及授賞規則ヲ修正ス ○六月 三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ申出ノ出版費寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第七號) ○山下龜三郎ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第八號) ○臨時學術研究費補助ノ件ヲ議決ス ○七月 第六回授賞式舉行 ○十月 立太子式奉賀ノ爲 天皇陛下並ニ皇太子殿下ニ賀表ヲ捧呈ス  
 同 六年 ○二月 故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一ヨリ申出ノ

桂學術獎勵基金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第十號) ○藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議ヲ議定ス ○三月 臨時學術研究費補助ノ件ヲ議決ス ○七月 第七回授賞式舉行 ○十月 院長理學博士男爵菊池大麓薨去ニ付補缺選舉ヲ行ヒ法學博士男爵穗積陳重當選シ同月就任ス ○故菊池大麓ノ擔當セシ和算史ノ調査ヲ藤澤利喜太郎ヘ委囑スルコトヲ議決ス ○十一月 第一部々長穗積陳重院長ニ就任ニ付キ第一部々長ノ補缺選舉ヲ行ヒ井上哲次郎當選シ同月就任ス ○大正六年度羅馬法學獎學費(藤田男爵獎學費)給與ノ件ヲ議決ス(以下毎年同事項省略ス)  
 同 七年 ○三月 會員藤澤利喜太郎著「諸外國學士院ノ組織及授賞制」再版發行 ○四月 子爵夫人末松生子ヨリ申出ノ羅馬法獎勵資金寄附ヲ受諾スルコトヲ議決ス(第十號) ○ロンドンニ於ケル聯合諸國「サイエンティフィックアカデミー」代表者會議ニ本院代表委員トシテ會員櫻井錠二並ニ田中館愛橘ヲ參列セシムル件ヲ議決ス ○五月 第八回授賞式舉行 ○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ穗積陳重幹事ニ櫻井錠二

第一部々長ニ井上哲次郎、第二部々長ニ古市公威當選シ七月就任ス  
 ○七月 子爵夫人末松生子寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決  
 議ヲ議定ス○十月 大正七年度採鑛冶金學及關係學科獎學費(藤田  
 男爵獎學費)給與ノ件ヲ議決ス○大正七年度子爵夫人末松生子羅馬  
 法獎學品贈與ノ件ヲ議決ス(以上二項以下毎年ノ議決ヲ省略ス)○會則ヲ修正ス○十月  
 ロンドン及パリニ於ケル萬國學術研究會議設立ニ關スル會議ニ本  
 院代表委員トシテ會員櫻井錠二、同田中館愛橘參列ス○十二月 臨  
 時學術研究費補助ノ件ヲ議決ス

同 八年○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議及學術研究費補  
 助ニ關スル決議ヲ修正ス○五月 皇太子殿下御成年式奉賀ノ爲  
 天皇陛下並ニ皇太子殿下ニ賀表ヲ捧呈ス○プリユセルニ於ケル萬  
 國學術研究會議第一回總會ニ本院代表委員トシテ會員田中館愛橘  
 ヲ參列セシムル件ヲ議決ス○大正八年度學術研究費補助ノ件及臨  
 時學術研究費補助ノ件ヲ議決ス○第九回授賞式舉○六月 學術研

究會議設立ニ關スル建議書ヲ内閣總理大臣並ニ文部大臣ニ提出  
 ス○パリニ於ケル「ユニオンアカデミック」ノ組織ニ關スル會議ニ本  
 院代表委員トシテ會員高楠順次郎並ニ小野塚喜平次ヲ參列セシム  
 ル件ヲ議決ス

同 九年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院去ル明治四十三年授賞ノ制設定ニ際シ賞典資トシテ十  
 ケ年間々々金貳千圓下賜ノ處成績顯著ニ付大正九年度以降  
 引續十ケ年間々々下賜候事

大正九年一月七日

宮 内 省

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正九年一月七日

宮 内 省

○一月 プリユセルニ於ケル第一回萬國學士院聯合會々議ニ本院代

表委員トシテ會員服部宇之吉並ニ織田萬ヲ參列セシムルノ件ヲ議定ス○二月 帝室制度ノ歴史的研究ヲ本院ノ事業トシテ遂行スル件ヲ議決シ會員岡野敬次郎(主任)三上參次、美濃部達吉ヲ擔當委員ニ選定シ後更ニ服部宇之吉ヲ追加選定ス○五月 第十回授賞式舉行○八月 曩ニ總理大臣並ニ文部大臣ニ建議セル學術研究會議設立ノ件ニ就キ政府當局ニ於テ審議ヲ遂ケ勅令第二百九十七號ヲ以テ其ノ官制ヲ制定公布セララル○十二月 學術研究會議第一回總會ヲ文部省内ニ招集シ會長及副會長ノ選舉ヲ行ヒ會長ニ古市公威副會長ニ櫻井錠二當選院長穗積陳重ハ會長古市公威ニ對シ學術研究會議ニ關スル事務ノ引繼ヲ了ス

同 十年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正十年一月十日

宮 内 省

○ブリュセルニ於ケル第二回萬國學士院聯合會會議へ本院代表委員トシテ會員岡松參太郎並ニ三上參次ヲ參列セシムル件ヲ議決ス○五月 第十一回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ穗積陳重、幹事ニ櫻井錠二、第一部々長ニ井上哲次郎、第二部々長ニ藤澤利喜太郎當選シ七月就任ス○九月 皇太子殿下海外御巡遊ヨリ御歸還奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○十月 三井家總代男爵三井八郎右衛門及三菱合資會社社長男爵岩崎小彌太ヨリ學術研究獎勵賞典資金寄附ノ申出ヲ受領スル事ヲ議決ス(第一號及第二號)

同 十一年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正十一年一月十二日

宮 内 省

○ブリュセルニ於ケル第三回萬國學士院聯合會會議へ本院代表委員トシテ會員井上哲次郎並ニ美濃部達吉ヲ參列セシムル件ヲ議決

ス○二月 白耳義學士院創立百五十年祝賀式へ本院代表委員トシテ會員井上哲次郎、中村精男、平山信並ニ美濃部達吉ヲ參列セシムル件ヲ議決ス○四月 松方公爵米壽祝賀會發起人總代法學博士男爵阪谷芳郎並ニ平山成信ヨリ申出ノ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第十號)○松方公爵米壽祝賀會記念獎學資金ノ使用方法ニ關スル決議條項ヲ議決ス○五月 第十二回授賞式舉行○七月 財團法人原田積善會理事原田二郎ヨリ申出ノ學術研究獎勵資金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第十號)○十月 男爵住友吉左衛門ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第四號)

○十一月 來朝中ノ獨逸理學者アインシュタイン博士歡迎會ヲ植物園ニ於テ舉行シ(歡迎の辭)ヲ呈ス○十二月 プリュセルニ於ケル第四回萬國學士院聯合會々議並ニ第五回萬國史學會々議へ本院代表委員トシテ會員上田萬年並ニ立作太郎ヲ參列セシムヘキ件ヲ議決ス

同 十二年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正十二年一月十一日

宮 内 省

○高峯保全株式會社取締役鹽原又策ヨリ學術研究ノ賞又ハ資ノ基金寄附ノ申出(第十號)及三共株式會社取締役鹽原又策ヨリ上記資金補充寄附ノ申出ヲ受領スル事ヲ議決ス(第十號)○二月 男爵古河虎之助ヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第五號)○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議、松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○四月 松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成信ヨリ申出ニ係ル松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ノ利子ニ加ヘ獎學金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第十二號)○山下龜三郎ヨリ申出ノ國際關係ノ學事費寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(十九號)○五月 第十三回授賞式舉行○松方公爵米壽祝

賀會殘務整理委員男爵阪谷芳郎ヨリ申出ノ同祝賀記念獎學資金ヲ受領スルコトヲ議決ス(第九號)○九月 大震火災ノ爲本院會議室ノ一部ヲ日本赤十字社福島支部救護班執務ノ爲提供シ尙罹災者收容ニ充ツ○十一月 大阪毎日新聞社長本山彦一ヨリ申出ノ東宮御成婚記念學術研究獎勵資金寄附ヲ受領スルコトヲ議決ス(第十號)○十二月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ修正ス○大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術研究獎勵資金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○プリユセルニ於ケル第五回萬國學士院聯合會々議ヘ本院代表委員トシテ會員松本亦太郎並ニ織田萬ヲ參列セシムヘキ件ヲ議決ス同 十三年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正十三年一月九日

官 內 省

○第五回萬國學士院聯合會々議本院代表委員織田會員後任トシテ

在白日本大使安達峰一郎ニ參列ヲ委囑スヘキ件ヲ議決ス○一月 東宮殿下御慶事奉祝ノ爲 天皇陛下並ニ東宮殿下ニ賀表ヲ捧呈ス○五月 第十四回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ穗積陳重、幹事ニ櫻井錠二、第一部々長ニ井上哲次部、第二部々長ニ佐藤三吉當選シ七月就任ス○十二月 米國人メンデンホールヨリ申出ノ學術獎勵資金ヲ受領スルコトヲ議決ス(第十號)同十四年○一月 プリユセルニ於ケル第六回萬國學士院聯合會々議ヘ本院代表委員トシテ會員福田德三並ニ在歐會員織田萬ヲ派遣シ更ニ在白日本大使安達峯一郎ニ本院代表委員ヲ委囑スヘキ件ヲ議決ス○次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正十四年一月二十一日

官 內 省

○四月 左ノ三件ヲ議決ス

會員ノ定員六十人ヲ百人トシ第一部五十人第二部五十人トス  
ルコト

各部ニ於テ分科ヲ設クルコト

分科ノ數及種類ハ各部ニ於テ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ルコト

○會員推選ニ關スル臨時手續ノ件ヲ議決ス○歐文記事出版ノ新計畫ニ關スル件ヲ議決ス○五月 第一部及ヒ第二部ニ分科設置並ニ其ノ定員ノ件ヲ議決ス○會員推選ニ關スル臨時手續法改正ノ件ヲ議決ス○小池厚之助ヨリ申出ノ學術獎勵基金及追加寄附ヲ受領スル事ヲ同十五年四月議決ス(第十入號)○勅令第二百號ヲ以テ帝國學士院規程改正ノ件公布○會則ヲ改正ス○第十五回授賞式舉行○勅令第二百三十三號ヲ以テ貴族院帝國學士院會員議員互選規則公布○七月紀事及別冊出版ニ關スル決議修正ノ件ヲ議決ス○八月 閣令第五號ヲ以テ貴族院帝國學士院會員議員ノ互選投票用紙投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル件公布○勅令第二百七十三號ヲ以テ帝國

學士院規程改正ノ件公布○九月 露國學士院創立二百年記念式へ本院代表委員トシテ會員福田徳三ヲ派遣スヘキコト及同學士院へ祝文ヲ送ルヘキ件ヲ議決ス○小池厚之助寄附學術獎勵金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○貴族院帝國學士院會員議員ノ第一回互選ヲ行ヒ第一部會員井上哲次郎、小野塚喜平次、第二部會員藤澤利喜太郎田中館愛橘ノ四名當選十月十日各右議員ニ勅任セララル○十月 極東熱帶醫學會第六回總會海外參列者歡迎午餐會ヲ上野精養軒ニ於テ舉行ス○院長穂積陳重辭任ニ付キ同會員多年在職中ノ功勞ニ對シテ感謝文ヲ呈スヘキコトヲ議決ス○十一月 院長辭任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ會員岡野敬次郎當選シ同月就任ス○十二月 プリュセ  
ルニ於ケル第七回萬國學士院聯合會々議へ本院代表委員トシテ會員瀧精一ヲ派遣スヘキコトヲ議決ス○學術研究費補助ニ關スル決議松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議及大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議修

正ノ件ヲ議決ス○サー、チャールズ、エリオットヲ客員ニ推舉ス  
大正十五年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス  
昭和元年

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

宮内省

大正十五年一月十二日

○プリユセルニ於ケル第七回萬國學士院聯合會々議へ本院代表委員トシテ會員在白日本大使安達峰一郎ヲ參列セシムヘキ件ヲ更ニ議決ス○二月 院長岡野敬次郎薨去ニ付キ補缺選舉ヲ行ヒ會員幹事櫻井錠二當選シ同月就任ス○岡野節ヨリ申出ノ學術獎勵金及追加寄附ヲ受領スヘキコトヲ議決ス(第十九號)○三月 幹事櫻井錠二院長ニ就任ノ結果補缺選舉ヲ行ヒ姉崎正治當選シ同月就任ス○來朝中ノ佛國醫科學士院幹事シャルル、アシャル博士竝ニソルボヌ大學教授フシエ博士歡迎晚餐會ヲ舉行ス○五月第十六回授賞式舉行○九月 新築會館落成シ之ニ移轉ス○十月

高松宮家ヨリ有栖川宮記念獎學資金受領候補者ノ選定方御依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス○小津清左衛門ヨリ申出ノ學術獎勵金寄附ヲ受領スヘキコトヲ議決ス(第二十號)○十一月 第三回汎太平洋學術會議海外參會者歡迎午餐會ヲ上野精養軒ニ於テ舉行シ院長幹事ノ案内ニテ一同會館ヲ參觀ス○第一部々長井上哲次郎會員ヲ辭任ス○十二月 第一部々長ノ補缺選舉ヲ行ヒ會員富井政章當選シ同月就任ス○プリユセルニ於ケル第八回萬國學士院聯合會々議へ本院代表委員トシテ會員土方寧ヲ派遣シ尙在白會員安達峰一郎ヲ本院代表委員トシテ右會議へ參列セシムヘキコトヲ議決ス○會員井上哲次郎貴族院帝國學士院會員議員ヲ辭任セルニ因リ其ノ補缺選舉ヲ行ヒ會員上田萬年當選シ同月二十一日同議員ニ勅任セララル  
昭和二年○二月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事



昭和二年二月二十二日

宮内省

○三月 ルヴン大學創立五百年記念式へ本院代表委員トシテ會員土方寧ニ參列ヲ委嘱シ尙祝文ヲ送ルヘキコトヲ議決ス○ロード、リスター誕生百年祭ニ祝電ヲ送ルヘキコトヲ議決ス○五月 第十七回授賞式舉行○六月 有栖川宮記念獎學資金受領候補者推薦ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ同事項ハ省之)○第十回萬國動物學會ニ本院代表委員トシテ五島清太郎ニ出席ヲ委嘱ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ櫻井錠二、幹事ニ姉崎正治第一部々長ニ富井政章、第二部々長ニ佐藤三吉當選シ七月就任ス○勅令第八十二號ヲ以テ規程中改正ノ件ヲ公布セラシテ○學術研究費補助ニ關スル決議修正ノ件ヲ議決ス○八月 西川虎吉ニ本院代表委員ヲ委嘱シ化學者マルスランベルトロー百年祭ニ參列ヲ乞ヒ尙祝文ノ贈呈方ヲモ委嘱ス○十月 中澤つるヨリ申出ノ學術研究獎勵金寄附ヲ受領スヘキコトヲ議決ス(第廿一號)○十二月 有栖川宮記念獎學資金受領候補者推薦ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ同事項ハ省之)○

第九回萬國學士院聯合會々議ニ會員安達峰一郎及吉田靜致ヲ代表委員トシテ參列セシムヘキコトヲ議決ス  
同 三年○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス  
帝國學士院

其ノ院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

昭和三年一月十一日

宮内省

○學術研究獎勵資金運用委員會設置及同委員會規則ヲ議定ス○有栖川宮記念獎學資金受領候補者選定ニ關スル決議ヲ議定ス

## 第二 帝國學士院規程

勅令第四百四十九號

(明治三十九年六月十二日)

(大正十四年五月改正 同 昭和二年六月改正)

### 帝國學士院規程

- 第一條 帝國學士院ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ學術ノ發達ヲ圖リ教化ヲ裨補スルヲ以テ目的トス
- 第二條 帝國學士院會員ハ帝國學士院ニ於テ碩學中ヨリ推選シ勅旨ヲ以テ之ヲ命ス
- 第三條 外國人ニシテ帝國ニ於ケル學術ノ發達ニ關シ特別ノ功勞アル者ハ帝國學士院ニ於テ之ヲ客員ト爲スコトヲ得
- 第四條 帝國學士院ハ左ノ二部ニ分チ會員ハ各專攻ノ學科ニ依リテ之ニ分屬ス
- 第一部 文學及社會的諸學科
- 第二部 理學及其ノ應用諸學科

- 第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ百人トス
- 第六條 帝國學士院ハ會議ヲ開キ學術及教化ニ關スル事項ヲ審議ス會議ハ總會及部會トス
- 第七條 帝國學士院會員ハ專攻ノ學科ニ付論文ヲ提出シ又ハ報告ヲ爲スモノトス
- 第八條 帝國學士院ハ學術ニ關スル論文、考案資料等ヲ募集スルコトヲ得
- 第九條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ外國ニ於ケル學術上ノ團體ト共同シテ研究ヲ爲シ又ハ其ノ會員トナルコトヲ得
- 第十條 文部大臣ハ學術及教化ニ關スル事項ニ付帝國學士院ニ諮詢スルコトヲ得
- 第十一條 帝國學士院ハ少クトモ毎年一回院務ニ關スル報告書ヲ文部大臣ニ提出スヘシ
- 第十二條 帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選ス  
院長、幹事及部長ノ任期ハ三年トス

第十三條 院長ハ院務ヲ總理シ總會ニ於テ其ノ議長ト爲ル

院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理シ院長及幹事共ニ事故アルトキハ院長ノ指名シタル會員其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ院長ノ指揮ヲ受ケ院務ヲ掌理ス

部長ハ院長ノ指揮ヲ受ケ部務ヲ掌理シ部會ニ於テ其ノ議長ト爲ル

第十四條 院長、幹事及部長ニハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第十五條 滿六十歳以上ノ會員ニハ特ニ年金ヲ給スルコトヲ得

第十六條 帝國學士院ニ書記四人ヲ置キ文部省所屬ノ判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ院長、幹事、部長ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス

書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第十七條 學術上ノ調査ノ爲會員中ニ於テ擔當者ヲ定メタルトキハ

手當ヲ給スルコトヲ得

第十八條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ會則ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十九條 東京學士會院規程及東京學士會院規程補則ハ之ヲ廢ス

第二十條 本令施行ノ際東京學士會院會員及客員タル者ハ本令ノ規定ニ依リ帝國學士院會員及客員タル者トス

第二十一條 東京學士會院規程第五條ニ依リテ年金ヲ受クル者ハ本令施行ノ後仍同額ノ年金ヲ受ク

第二十二條 本令ノ規定ニ依リ帝國學士院長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院會長ニ於テ幹事及部長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院幹事ニ於テ其ノ職務ヲ行フヘシ

(參照)

勅令第二百六十四號 (明治二十三年十月二十五日官報)

東京學士會院規程

第一條 東京學士會院ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ謀ランカ爲ニ設クル所ニシテ文部大臣ノ管轄ニ屬ス

第二條 東京學士會院ハ善徳碩學ノ中ヨリ選出セラレタル會員ヲ以テ組織ス其ノ選出ノ方法及人員左ノ如シ  
一 帝室ノ特選ニ依ル會員十五名

(參照)東京學士會院規定

(參照)東京學士會院規程

- 一 會員ノ推選ニ依ル會員二十五名  
會員ノ推選ニ依ルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經ルヲ要ス  
會員ハ終身トス
- 第三條 東京學士會院會員ハ各自專攻ノ學科ニ就キ論說ヲ述ヘ又學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ報告スルモノトス
- 第四條 東京學士會院ハ學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ文部大臣ヨリ諮問アルトキハ審議復申スルモノトス又會員各自意見アルトキハ會院ニ於テ審議シ文部大臣ニ開陳スルコトヲ得
- 第五條 東京學士會院會員滿六十歳以上ノ者十名以内ヲ限リ特ニ各年金三百圓賜フコトアルヘシ
- 第六條 東京學士會院ニ會長一人幹事二人ヲ置ク  
會長幹事ハ會員ノ互選ヲ以テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム其任期ハ各一年トス但再選セラレルコトヲ得
- 第七條 會長ハ文部大臣ノ監督ヲ受ケ院務ヲ統理シ議事アルトキハ議長ノ任ニ當ルモノトス會長事故アルトキハ幹事ノ内一人ヲ指定シテ其任務ヲ代理セシム  
幹事ハ會長ヲ補佐シテ院務ヲ掌理ス
- 第八條 削除(二十六年勅令第五十九條ヲ以テ削除)
- 第九條 東京學士會院ニ書記二人ヲ置キ文部屬ヲ以テ之ニ兼補ス書記ハ會長幹事ニ屬シテ庶務ニ從事ス
- 第十條 東京學士會院ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ會則ヲ設クルコトヲ得
- 勅令第十七號 (明治二十八年三月八日官報)  
東京學士會院規程補則

外國ノ著徳碩學ニシテ特ニ帝國ニ對シ功勞アル者ハ會員ノ推選ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ客員トナスコトヲ得

勅令第二百號 (大正十四年五月二十一日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日公布勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ六十人トス

勅令第二百七十三號 (大正十四年九月二日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日公布勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十三條 第二項

院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理ス

勅令第八十二號 (昭和二年六月十六日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日公布勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十二條 第一項及第二項

帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク  
院長及幹事ハ總會ニ於テ、部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

(參照)東京學士會院規程

### 第三 帝國學士院會則

明治三十九年七月一日議決同月四日  
 同四十年十二月十二日改正議決同月十九日  
 同四十二年三月十二日追加議決同月廿二日  
 大正五年十月十二日修正議決同月十八日  
 大正七年十月十二日修正議決同月廿八日  
 大正十四年五月十三日修正議決同月廿九日  
 文部大臣認可

第一條 帝國學士院會員ノ定員ハ各部五十人トス

各部ニ分科ヲ設クルコトヲ得

分科ノ種類及其ノ定員ハ各部ニ於テ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ヘシ

第二條 會員ヲ推選セントスルトキハ當該部會ニ於テ投票ヲ以テ先

ツ候補者ヲ豫選シ其ノ最多數ヲ得タル者三人ヲ以テ候補者トス

候補者ニ缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ補缺豫選ヲ行フ

候補者ニ付キ當該部會ニ於テ決選投票ヲ行ヒ外國ニ在リテ投票ヲ

爲サ、ル者ヲ除キタル部會員三分ノ二以上ノ多數ヲ得タル者ヲ當

選者トシテ總會ノ認可ヲ經テ之ヲ會員ニ推選ス

前項ノ多數ヲ得タル者ナキトキハ更ニ決選投票ヲ行ヒ尙ホ當選者

ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ候補者ノ改選ヲ行フ

第三條 候補者ノ豫選及會員ノ推選ハ少クトモ三週間以前院長ヨリ

之ヲ會員ニ通知ス

第四條 客員ヲ推舉セントスル者ハ當該部會員五人以上ノ贊成ヲ得

テ部會ニ發議スルコトヲ得

客員ノ選定ニ關シテハ第二條第三項及第三條ノ規定ヲ準用ス

第五條 院長幹事及部長ノ選舉ハ最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當

選者トス

院長幹事及部長ハ六月ニ之ヲ選舉シ七月ニ至テ就任ス但シ六月ニ

選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ遞次之ヲ繰延フルコトヲ得此場合

ニ於テハ後任者ノ就任スルニ至ル迄仍前任者ニ於テ其ノ職務ヲ取

扱フ後任者ノ任期ハ其ノ就任ノ時期ニ拘ラス七月ヨリ之ヲ起算ス

第六條 投票ハ總テ無記名トス

病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投

票スルコトヲ得

第七條 第二條第一項及第五條第一項ノ場合ニ於テ投票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス

第八條 總會ハ院長部會ハ部長之ヲ召集ス

通常總會ハ毎月一回之ヲ開ク但シ八九兩月ハ開會セス  
院長ノ見込ニ依リ又ハ會員五人以上ノ請求アルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第九條 總會及部會ハ在東京會員ノ三分一以上ニ相當スル出席員アルニアラサレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

議決ハ出席員ノ過半數ニ依ル

第十條 總會及部會ノ議長ハ議決ノ數ニ加ハラズ但シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條 帝國學士院規程第七條ノ論文ノ提出及報告ハ總會又ハ部會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

帝國學士院會員ニ非サル者ノ論文又ハ報告ハ會員之ヲ紹介シテ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

論文及報告ハ之ヲ印刷シテ學者、學會、學校等ニ配付スルコトアルヘシ

論文及報告ノ會議ハ傍聽ヲ許スコトアルヘシ

第十二條 總會又ハ部會ノ議決ニ依リ講演ヲ公開スルコトアルヘシ

第十三條 部ハ總會ノ認可ヲ經テ部則ヲ定ムルコトヲ得

第十四條 部會ノ開會及議決ハ部長ヨリ之ヲ院長ニ報告スヘシ

第十五條 院長ハ毎年一回總會ニ於テ前一年間ノ院務ノ要項ヲ會員ニ報告スヘシ

部長ハ毎年一回前一年間ノ部務ノ要項ヲ院長ニ報告スヘシ

第十六條 部長事故アルトキハ會員ノ一人ニ其ノ職務ヲ委託スルコトヲ得

附 則

帝國學士院會則 帝國學士院會則ニ關スル決議 (參照)東京學士會院會則 三四

第十七條 各部ニ於ケル會員ノ數四十五人ニ充ツルマテハ第二條及第三條ノ規定ニ依ラス總會ニ於テ會員ニ推選スヘキ者ヲ選定ス

會則第九條ニ關スル決議 (大正元年十月十二日總會議決)

帝國學士院會則第一項ハ總會又ハ都會ヲ開キ諸般ノ報告ヲ受ケ及學術上ノ論文ノ提出アルヲ妨ケス

會則第十一條第二項ニ關スル決議 (大正五年三月十二日總會議決)

會則第十一條第二項ノ場合ニ於テハ本人ヲシテ論文又ハ報告ノ説明ヲ爲サシムルコトヲ得

(參照)

東京學士會院會則 (明治二十三年十一月九日議決同月二十六日文部大臣認可)

第一條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ投票ヲ以テス投票同數ナレハ年長者ヲ取ル

第二條 會長幹事ハ毎年十二月ニ於テ改選シ翌年一月ヨリ就職スルモノトス

第三條 會長幹事ハ發案討論ヲ爲スコト總會員ニ同シ

會長幹事議長ノ任ニ當ルトキハ可否ノ數ニ加ハラス但可否同數ノ場合ニ於テハ議長之ヲ決ス

第四條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ在京會員ノ投票ヲ以テス但缺席者モ之ヲ加ヘルモノトス

第五條 會員ノ推選ハ先ツ在京會員ニテ投票シ其ノ投票數多數ノ三名ヲ取ツテ再ヒ投票シ最多數ヲ得タル者一人ヲ以テ當選者ト定ム但多數ト雖投票數五點以下ナルトキハ之ヲ棄却シ更ニ改選ヲ爲ス

第六條 會員中右三名共ニ不適任ト認ムルカ若クハ其ノ學力人物等ヲ聞知セサルトキハ投票ヲ辭スル事ヲ得

第七條 投票ヲ辭シタル會員ノ數在京會員ノ三分ノ一以上ニ登ルトキハ選舉ヲ行ハス更ニ改選ヲ爲ス

第八條 當選者會員タルコトヲ辭スル者アルトキハ更ニ改選ヲ爲ス

第九條 議事ノ可否ヲ決スルハ多數ニ依ル但在京會員二分ノ一以上出席セサルトキハ可否ヲ決セス

第十條 會日ニハ講筵ヲ開キ公衆ノ參聽ヲ許スコトアルヘシ

第十一條 毎年一月ノ會日ニ於テ前會長前年ノ院務ノ要項ヲ報告ス

第十二條 會員ノ坐順變換ハ年二期(一月、七月)トシ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但新任者ハ該一期間末坐トス

第十三條 通常毎月(八、九兩月ヲ除ク)第二日曜日ヲ以テ會日ト定ム但事宜ニヨリ會日ヲ變更シ或ハ臨時會

ヲ開クコトアルヘシ

第十四條 演述ノ筆記並ニ院務ノ要項等ハ時々之ヲ刊行シテ會員ニ頒チ併セテ世ニ公ニス

第四 各部分科並ニ定員

第一部

第一分科——法律學、政治學、經濟學 定員 二十五人

第二分科——哲學、史學、文學 定員 二十五人

第二部

第一分科——星學、數學 定員 七人

(參照)東京學士會院會則 各部分科並ニ定員

第二分科——物理學、化學 定員 十一人

第三分科——地球物理學、地質學 定員 八人

第四分科——生物學、醫學 定員 十六人

第五分科——工學、農學 定員 八人

第五 帝國學士院授賞規則

明治四十三年十月十二日議決  
同月二十六日文部大臣認可  
大正五年三月十二日修訂  
同四年十一月十二日修訂  
昭和二年六月十一日修訂  
同和二年七月九日文部大臣認可

第一條 帝國學士院ハ學術ノ研究ヲ獎勵スル爲本則ノ定ムル所ニ依リ賞ヲ授ク

第二條 賞ハ特定ノ論文著書其ノ他特種ノ研究ニシテ其ノ成績卓絶ナルモノニ對シテ之ヲ授ク

第三條 賞ハ賞牌又ハ賞金トス但シ賞牌及賞金ハ併セテ之ヲ授クルコトヲ得

賞牌ノ制式ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 賞ハ帝國學士院會員ニ非サル者ニ之ヲ授ク

第五條 賞ヲ授クルハ推薦又ハ募集ニ依ル

第六條 帝國學士院會員授賞ノ推薦ヲ爲サムトスルトキハ毎年十月其ノ所屬ノ部會ニ其ノ提議ヲ爲スヘシ但シ十月部會ヲ開カサルトキハ遞次繰延フルコトヲ得

前項ノ提議ニハ當該部會員三人以上ノ賛成アルコトヲ要ス

第七條 部會ニ於テ論文等ヲ審査ニ付スヘキモノト議決シタルトキハ審査委員ヲ定ムヘシ

部會ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ部ニ屬スル會員ニ審査委員ヲ囑託スルコトヲ得

第八條 審査委員ノ議決ハ多數決ニ依ル但シ審査委員ハ部會ニ於テ各其ノ意見ヲ述フルコトヲ妨ケス

第九條 審査委員ハ書面ヲ以テ審査ノ經過及結果ヲ部會ニ報告スヘシ



第十條 部會ニ於ケル擬賞ノ議決ニハ投票總數三分ノ二以上ノ賛成アルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ擬賞ノ議決アリタルトキハ部長ハ審査報告書其ノ他擬賞ニ關スル一切ノ事項ヲ總會ニ提出シ其ノ議決ヲ經ヘシ

第十二條 擬賞ノ議決ヲ爲スニハ部長又ハ院長ニ於テ少クトモ三週間以前會議ノ目的ヲ會員ニ通知スヘシ

第十三條 擬賞ノ議決ニ付テハ投票ハ總テ無記名トス病氣其ノ他ノ事故ニ因リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投票スルコトヲ得

第十四條 論文ヲ募集スル場合ニ於テハ其ノ都度部會ニ於テ募集ニ關スル事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經ヘシ總會ノ議決アリタルトキハ帝國學士院募集ノ條件ヲ公示ス

第十五條 論文ノ募集了リタルトキハ部會ニ於テ審査委員ヲ定ムヘシ

シ

第十六條 第七條第二項及第八條乃至第十三條ノ規定ハ論文募集ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 賞ヲ受ケタル者ハ受賞ノ目的タル論文又ハ著書ニ其ノ旨ヲ表示スルコトヲ得

第十八條 賞ヲ授クヘキ者授賞推薦ノ提議アリタル後又ハ論文ノ募集ニ應シタル後死亡シタル場合ニ於テハ帝國學士院ハ授賞ノ旨ヲ公示シ且其ノ者ニ授クヘキ賞ノ處分ヲ定ム

### 第六 恩賜賞ニ關スル決議

(明治四十四年二月十二日總會決議  
明治四十四年四月十二日總會決議)

- 一 皇室ノ御下賜金ヲ以テスル賞ハ之ヲ恩賜賞ト稱スルコト
- 二 恩賜賞ノ數ハ毎年第一部第二部各一個トシ場合ニ依リ二個ニ等分スルコトヲ得若シ其ノ年度内ニ授與シ了ラサルモノアルトキハ之ヲ遞次繰越シ授與スルモ差支ナキコト
- 三 恩賜賞ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授クルコト

恩賜賞牌



賞牌樣式

帝國學士賞牌

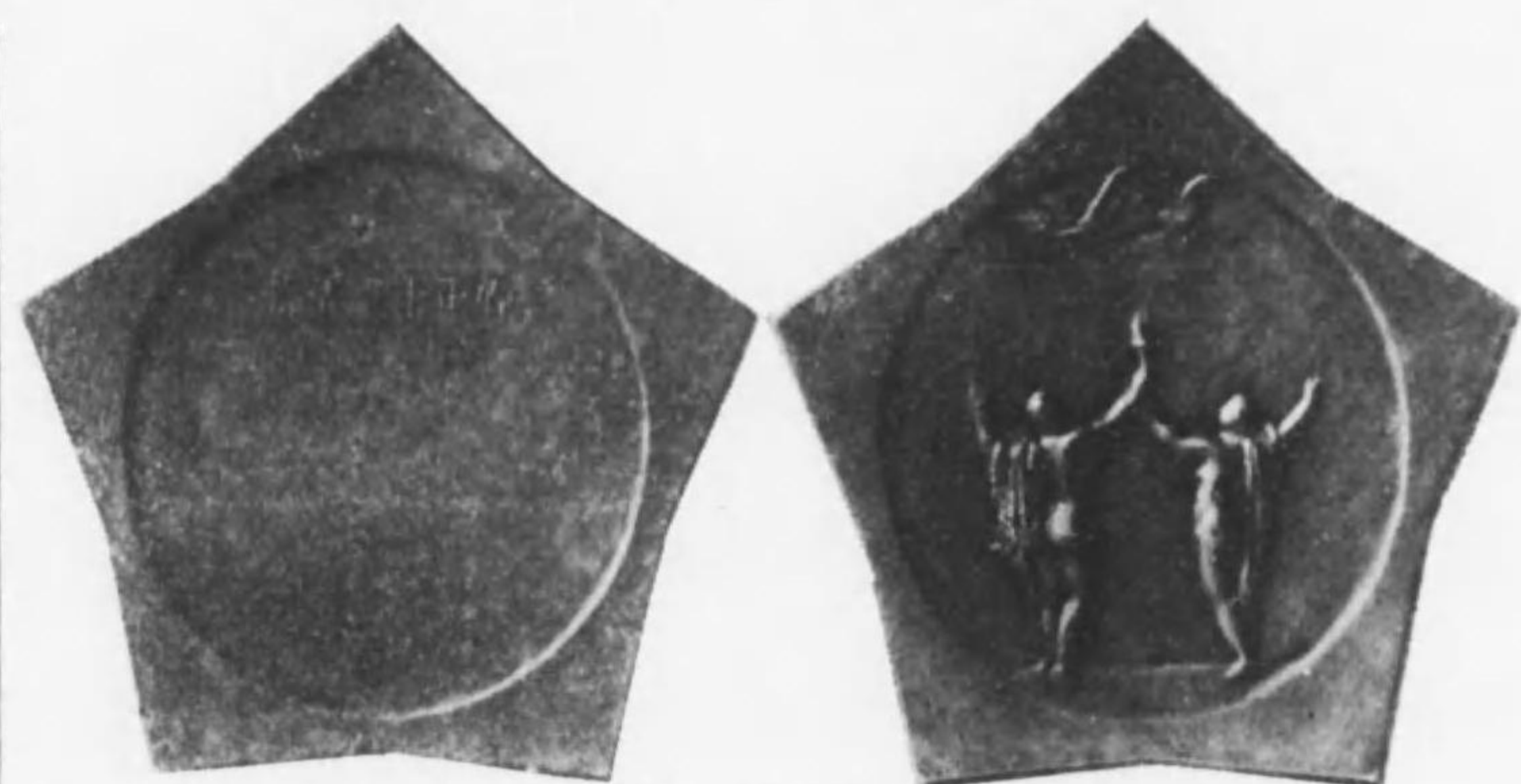


四一

(縮尺五分之二)

大阪毎日新聞東京日日新聞附寄  
東宮御成婚記念賞牌

賞牌及賞記様式



(三ノ分五尺縮)

賞記  
帝國學士院ハ何誰ノ何々ニ對シ本院授賞規則第二條ニ依リ茲ニ大阪毎日新聞東京日日新聞附東宮御成婚記念賞牌及賞金ヲ授與ス

院長位勳爵氏名花押

年 月 日  
院 印

割印番號

(其三)

四三

(其一)

賞記  
帝國學士院ハ何誰ノ何々ニ對シ本院授賞規則第二條ニ依リ茲ニ恩賜賞牌及賞金ヲ授與ス

院長位勳爵氏名花押

年 月 日  
院 印

割印番號

賞記様式

(其二)

賞記  
帝國學士院ハ何誰ノ何々ニ對シ本院授賞規則第二條ニ依リ茲ニ帝國學士院賞牌及賞金ヲ授與ス

院長位勳爵氏名花押

年 月 日  
院 印

割印番號

四二

第七 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ

關スル法律 (大正四年六月法律第十三號)

帝國學士院ニ於テ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル金額ハ之ヲ帝國學士院長ニ交付シ經理ヲ委任スルコトヲ得委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依ル

附 則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
帝國學士院學術獎勵金特別會計法ニ依リ帝國學士院長ニ經理ヲ委任セラレタル金額ノ支出殘額ハ本法ニ依リ經理ヲ委任セラレタルモノト看做ス

第八 貴族院帝國學士院會員議員互選規則

勅令第二百三十三號 (大正十四年六月十九日官報)

貴族院帝國學士院會員議員互選規則

貴族院帝國學士院會員互選規則

- 第一條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル選舉ハ帝國學士院規程ニ定メタル各部ニ於テ各二人ヲ互選スルモノトス
- 第二條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル互選資格ヲ有スル者ハ選舉ノ期日ノ三十日前ヨリ其ノ日迄引續キ帝國學士院會員タル者タルヘシ
- 第三條 選舉ニ關スル事項ハ內閣總理大臣之ヲ管理ス
- 第四條 選舉ハ九月二十日東京ニ於テ之ヲ行フ
- 第五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
- 第六條 投票ハ一人一票ニ限ル
- 第六條 帝國學士院長ハ選舉管理者ト爲リ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス
- 第七條 帝國學士院長ハ選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通

知書ヲ發スヘシ

- 第八條 互選人ハ選舉會場ニ於テ選舉管理者ノ交付シタル投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏名ヲ自ラ記載シテ投票スヘシ
- 投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス
- 第九條 互選人東京府ノ外ニ居住スルニ因リ又ハ公務若クハ疾病傷痍ニ因リ選舉ノ當日選舉ノ會場ニ到ルコト能ハサルトキハ郵便ニ依リ投票ヲ爲スコトヲ得
- 第十條 前條ノ規定ニ依リ投票ヲ爲サムトスル者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ十日前ニ選舉管理者ニ理由ヲ具ヘテ其ノ旨ノ届出ヲ爲スヘシ但シ正當ノ理由ニ因リ當該期間内ニ届出ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ前日迄ニ届出ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ選舉管理者ハ直ニ投票用紙及投票用封筒ヲ當該互選人ニ送付スヘシ

- 第十一條 前條ノ規定ニ依ル送付ヲ受ケタル互選人ハ投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏名ヲ自ラ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ更ニ之ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ其ノ表面ニ署名捺印シ且投票在中ノ旨ヲ明記シ投票ノ時間ノ終了スル時迄ニ到達スル様書留郵便ヲ以テ選舉管理者ニ之ヲ送付スヘシ
- 投票用紙及投票用封筒ニハ選舉人ノ氏名ヲ明記スルコトヲ得ス
- 第十二條 選舉管理者ハ前三條ノ規定ニ依ル郵便投票ヲ受領シタルトキハ選舉會場ニ於テ投票ノ時間内ニ互選人ノ面前ニ於テ外部ノ封筒ヲ開披シテ投票用封筒ヲ投函スヘシ
- 第十三條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ更ニ投票ヲ行ハシムヘシ

第十四條 投票終ルノ後選舉管理者ハ互選人ノ面前ニ於テ投票ヲ點檢スヘシ此ノ場合ニ於テ投票用封筒ニ入レタル投票アルトキハ其ノ封筒ヲ開披シタル上總テノ投票ヲ混同シタル後點檢スヘシ

第十五條 投票ノ拒否及效力ハ選舉管理者之ヲ決定ス

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 互選人ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超過スル被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 五 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ
- 六 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 七 貴族院帝國學士院會員議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタル

モノ

前項第七號ノ規程ハ第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

第一項第二號第六號又ハ第七號ニ該當スル投票ハ連記投票ノ場合ニ於テハ其ノ該當ノ部分ノミヲ無効トス

第十七條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ以テ總被選舉人ノ得票總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡モ亦同シキトキハ選舉會場ニ於テ選舉管理者互選人ノ面前ニテ抽籤シテ之ヲ定ム

第十八條 第十四條ノ規定ニ依ル點檢ノ結果ハ其ノ場ニ於テ之ヲ告知スヘシ當選人ノ其ノ場ニ在ラサルトキハ尙直ニ當選ノ旨ヲ本人ニ告知スヘシ

第十九條 貴族院令第九條ノ規定ニ依ル選舉ニ關ル爭訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ル場合ニ於テハ選舉管理者之ヲ定ムヘシ

當選人當選ヲ辭シタルトキ死亡者ナルトキ又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ當選人闕タルニ至リタルトキハ選舉管理者ハ直ニ第十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

前二項ノ場合ニ於テ選舉管理者ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

第二十條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉管理者ニ届出ツヘシ  
當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十一條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ帝國學士院長ハ當選人

ノ氏名ヲ内閣總理大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 選舉管理者ハ選舉錄ヲ作り選舉ニ關スル顛末ヲ記載シ署名シ且其ノ寫ヲ内閣總理大臣ニ送付スヘシ

當選人議員ニ勅任セラレタルトキハ内閣總理大臣ハ選舉錄ノ寫ヲ貴族院議長ニ送付スヘシ

第二十三條 投票ハ有效無效ヲ區別シ郵便投票ニ用ヒタル封筒選舉錄其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間帝國學士院ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 當選人ナキトキ若ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ又ハ當選人ナキニ至リ若ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタル場合ニ於テ第十九條ノ規定ニ依リ當選人ヲ定ムルコトヲ得サルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ更ニ

選舉ヲ行ハシムヘシ

第二十五條 議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ貴族院議長ヨリ其ノ旨ヲ上奏シ勅旨ヲ以テ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命シ及其ノ期日ヲ指定スヘシ

第二十六條 前二條ノ選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第二十八條 貴族院令第九條ノ規定ニ依リ貴族院ニ出訴スルノ期限ハ議院開會ノ後十日以内トス但シ開院中議員ニ勅任セラレタル場合ニ於テハ其ノ後十日以内ニ於テ出訴ノ期限トス

前項ノ期限ニ滿タスシテ議院閉會セラレ出訴スルコト能ハサルトキハ尙次ノ會期ノ開會後十日以内ニ出訴スルコトヲ得

附則

本令ハ貴族院令第五條ノ二ノ規定ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



(參照)

明治二十二年二月十日勅令第十一號貴族院令抄錄

第五條ノ二 滿三十歳以上ノ男子ニシテ帝國學士院會員タル者ノ中ヨリ四人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラ

レタル者ハ其ノ會員タルノ間七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ

定ム

第九條 貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關ル爭訟ヲ判決ス其ノ判決ニ關ル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議定シ

上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

### 第九 貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票 用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令

閣令第五號 (大正十四年八月二十一日官報)

貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ハ帝國學士院長之ヲ定メ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クヘシ

### 第十 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議

(明治四十四年十一月十二日總會議決 同十二年三月十二日總會修正議決)  
(同四十五年五月十二日總會修正議決 同十二年十二月十二日總會修正議決)  
大正八年三月十二日總會修正議決

一 男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金ヲ以テセル賞ハ第二部ニ於テ  
毎年其ノ數ヲ一個トシ男爵岩崎久彌ヨリノ寄附金ヲ以テセル賞ハ  
第一部第二部各隔年ニ一個トス但シ場合ニ依リテハ部ニ於テ之ヲ  
分チ貳個以上ノ賞トスルコトヲ妨ケス

大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ内  
ヲ以テセル賞ハ之ヲ大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記  
念賞ト稱シ其ノ數ハ各部ヲ通シテ毎年四個トス  
受賞者ナキトキハ之ニ對スル賞金ハ遞次翌年度ニ繰越シ之ヲ授與  
スルコトヲ得

賞ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授ク

二 寄附ノ條件ニ依リ寄附金ヨリ生スル殖金ヲ賞又ハ研究費補助  
トシテ使用スルコトヲ得ル場合ニ於テ之ヲ賞トスルトキハ其ノ數  
及ヒ所屬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム  
前項ノ賞ニシテ記念ノ趣旨ヲ表明スルコトヲ要スル場合ニハ之ヲ

- 某記念賞ト稱シ賞金ニ賞記ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 三 二人以上共同ノ事業ニ對シテハ賞記ニ其ノ旨ヲ記シ各自ニ之ヲ授ク但シ賞金ハ分割セサルコトアルヘシ

第十一 條件附寄附金ニ關スル決議 (大正五年一月二十二日 總會決議)

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル寄附金ノ使途ニ關シテハ總會又ハ部會ハ必要ナル審査及決議ヲ爲スヘシ

第十二 藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議 (大正六年二月十二日 總會決議)

- 一 男爵藤田平太郎寄附ノ獎學費ハ其ノ指定セラレタル用途ノ範圍ニ於テ有望ナル研究者ニ之ヲ與フ
- 二 獎學費ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ決議ニ依ル部會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス
- 三 獎學費ヲ受クヘキ者ノ數ハ各部ニ於テ毎年之ヲ定ム

獎學費ハ一人一箇年金三百圓トス但シ更ニ其ノ支給ヲ繼續スルコトヲ得

四 獎學費ヲ受ケタル者ノ氏名ハ寄附者ニ之ヲ報告ス

第十三 末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ

使途ニ關スル決議 (大正七年七月十二日第一部々會議決)  
(大正十年十一月十二日第一部々會議決)

- 一 子爵夫人末松生子寄附羅馬法獎學資金ハ其ノ利殖金ノ一部ヲ以テ羅馬法律書籍ヲ購入シ獎學品トシテ各官公私立大學中羅馬法ヲ教授セル各大學ノ大學院又ハ法科大學在學中ノ學生ニ與フルモノトス但シ適當ト認ムル他ノ學生ニ與フルコトアルヘシ
- 尙ホ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シ之ニ寄贈スルコトヲ得
- 利殖金ノ他ノ一部分ハ之ヲ積立テ羅馬法律書籍ノ出版費トシテ使用スヘキモノトス
- 二 獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ選定ハ第一部

部長ノ詮考ニ依ル但シ詮考事項ハ之ヲ部會及總會ニ報告スヘシ  
 獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ數並ニ出版費ト  
 シテ積立テ置クヘキ金額ハ相當ノ範圍ニ於テ毎年之ヲ定ム  
 三 獎學品ヲ受ケタル者ノ氏名及書籍ヲ寄贈シタル圖書館ノ名ハ之  
 ヲ寄附者ニ報告スヘシ

第十四 松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議

(大正十一年四月十二日總會決議  
 大正十二年三月十二日總會修正決議)

- 一 松方公爵米壽祝賀會寄附ノ獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ元金ハ  
 永ク保存シテ之ヲ利殖シ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ
- 二 獎學費ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル學科ノ研究費、褒  
 賞費、講義費、學生費、出版費等ニ充テ其ノ他本院ニ於テ適當ト認ムル  
 事業費ニ之ヲ使用ス
- 三 獎學費使途ノ事項ニハ「松方記念」ノ稱ヲ冠ス

- 四 獎學費ノ使途並ニ其ノ受領者ノ選定ハ當該部會ノ決議ニ依ル部  
 會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス
- 五 獎學費ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告ス

第十五 大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚  
 記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十二年十二月總會決議)

- 一 大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ  
 内ヲ以テセル學術研究資金ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東  
 宮御成婚記念」ノ稱ヲ冠シ該資金使途ノ事項ニハ之ニ依リタル旨ヲ  
 表明スルコト
- 二 研究資金ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ議ヲ經テ總會ニ於テ之ヲ  
 決定ス
- 三 研究資金ヲ受ケタル者ノ氏名及研究事項ハ毎年之ヲ大阪毎日新

大阪毎日新聞社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ  
 關スル決議

聞東京日日新聞兩社ニ報告ス

### 第十六 小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十四年九月十九日臨時總會議決)

- 一 小池厚之助寄附獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ其ノ總額ヲ基金トシテ永久ニ保存利殖シ其ノ利子ヲ研究費補助ニ充ツ
- 二 基金ヨリ生スル利子ノ中毎年度金參千圓ヲ控除シ特別補助資金トシテ之ヲ積立利殖シ殘餘ノ利子ノ一半ハ醫學ノ研究費補助ニ充テ他ノ一半ハ一般研究費補助ニ充ツ
- 三 特別補助資金及其ノ利殖金ハ特別重要事項ノ研究ニシテ特ニ多額ノ補助金ヲ要スルモノニ對シ十分ナル補助ヲ爲サムトスルトキニ限り之ヲ使用ス
- 四 研究費補助ヲ受クヘキ者ノ選定ハ本院總會ノ「學術研究費補助ニ關スル決議」ニ依リ之ヲ爲ス

- 五 研究費補助ヲ受ケタル者ノ氏名ハ其ノ研究事項ト共ニ毎年之ヲ小池家ニ報告ス

### 第十七 學術研究費補助ニ關スル決議

|                |                 |                  |                  |                 |
|----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|
| 明治四十年七月十二日總會議決 | 大正八年三月十二日總會修正議決 | 大正十二年一月十二日總會修正議決 | 大正十五年六月十二日總會修正議決 | 昭和二年六月十二日總會修正議決 |
|----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|

- 一 會員ニシテ學術研究費ノ補助ヲ要スルコトアルトキハ研究ノ目的ヲ明記シ之ニ要スル概算費目ヲ十二月末日マテニ部長ニ申出ツヘシ
- 會員ニ非サル者ニ對スル學術研究費ノ補助ハ會員又ハ官公私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル
- 前項ノ推薦ハ院長ニ宛テ毎年十二月末日迄ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 二 決議一ノ申出及推薦ハ研究事項ノ屬スル部ニ於テ之ヲ審査スル爲毎年一月ノ部會ニ於テ部長其ノ部ニ屬スル審査委員若干名ヲ指名ス(一日部會ヲ開カサルモ部長ハ審査委員ヲ指名ス)
- 部長ハ審査委員會ヲ召集シ其ノ議長ト爲ル審査委員會ノ決議ハ一月末日マテニ部長之ヲ院長ニ報告スヘシ
- 三 學術研究費補助案ハ部長ノ報告ニ基キ役員會議ニ於テ之ヲ定メ二月ノ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ院長ハ決議一及二ノ手續ニ依ラス部長ノ申請ニ因リ役員會議ニ於テ決定シ次回ノ總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ
- 四 學術研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ研究結了後直ニ其ノ成績ヲ報告スヘシ
- 研究數年ニ涉ル場合ニ於テハ毎年十二月末日マテニ研究進行ノ狀況ヲ記載セル報告書ヲ部長ニ提出スヘシ
- 五 補助ヲ受ケタル研究ノ成績報告書ニハ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ

受ケタル旨ヲ明記スルコトヲ要ス

### 第十八

高松宮家へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎

勵資金受領候補者選定ニ關スル決議

(昭和三年一月十二日總會議決)

本院ヨリ高松宮家ニ推薦スヘキ有栖川宮記念學術研究獎勵資金受領候補者ノ選定ニ關シテハ授賞ノ場合ニハ本院授賞規則ヲ學術研究費補助ノ場合ニハ本院學術研究費補助ニ關スル決議ヲ準備ス

但シ授賞事項又ハ研究費補助事項ノ提出時期ハ左ノ通りトス

- 一 授賞事項ノ提出期ハ毎年二月又ハ時宜ニ依リ三月トス
- 二 學術研究費補助事項ノ提出期ハ本院會員ヨリスルモノハ毎年四月末日及十月末日迄ノ二回トシ官公私立大學總長又ハ學長ヨリスルモノハ毎年十月末日迄トス

### 第十九

學術研究費補助推薦ニ關スル決議

(大年五年一月二十日五日總會議決)

高松宮家へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎勵資金受領候補者選定ニ關スル決議

學術研究費補助推薦ニ關スル決議

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル事業ニ關シ推薦ノ依頼ヲ承諾シタルト  
キハ總會又ハ部會ハ委員ヲ選出シ必要ナル審査ヲ爲サシメ其ノ結果  
ニ依リ決議ヲ爲スヘシ

### 第二十 出版ニ關スル決議

(明治四十年七月十二日總會修正議決  
同四十四年十一月十二日總會修正議決)

- 一 毎年一回年報ヲ刊行シテ報告ヲ登載スヘシ
- 二 帝國學士院規程第七條、第八條及帝國學士院會則第十一條第二項第十二條ニ依ル論文報告講演等ハ帝國學士院紀事又ハ別冊トシテ刊行スルコトヲ得
- 三 圖書又ハ論文ヲ編纂校訂翻譯若クハ謄寫セシメ又ハ之ヲ出版スルコトヲ得
- 四 第二項ニ掲ケタル論文報告及講演ヲ帝國學士院紀事又ハ別冊以外ニ掲載セントスルトキハ院長ノ許可ヲ經ルコトヲ要ス

### 第二十一 帝國學士院紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議

(明治四十年十二月十二日總會修正議決  
同四十四年七月十二日總會修正議決)

- 一 帝國學士院紀事ハ集會ノ錄事及會員ノ提出セル論文報告書等ヲ登載ス
- 二 長編ノ論文報告書等ハ別冊トシテ隨時刊行シ其ノ概要ヲ紀事ニ登載ス
- 三 會員ニ非サル者ノ論文報告書等ニシテ會員ノ紹介ニ依リ提出セラレタルトキハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ掲クルコトアルヘシ
- 四 既ニ他ニ出版セル論文報告書等ハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ登載セス但シ其ノ概要ヲ抄録スルハ此限ニアラス
- 五 出版委員若干名ヲ置キ出版ニ關スル事務ヲ委任ス  
出版委員ハ論文報告書等ノ取捨節略ニ關シ疑アルトキハ之ヲ總會

又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

六 出版委員ハ部ニ於テ之ヲ選出シ幹事ヲ以テ委員長トス  
部選出委員ノ數ハ各部之ヲ定メ其ノ任期ヲ三箇年トス

## 第二十二 帝國學士院學術研究獎勵金運用委員會規則

(昭和三年一月十二日總會議決)

第一條 本院ニ學術研究獎勵金運用委員會ヲ置ク

運用委員會ハ院長ノ監督ニ屬シ學術研究獎勵金ノ運用ニ關スル事項ヲ審議ス

第二條 運用委員會ハ委員長一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ本院幹事ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ本院會員中ヨリ院長之ヲ囑託ス

院長必要アリト認ムルトキハ文部省會計課長又ハ他ノ文部省高等官ニ委員ヲ囑託スルコトヲ得

第三條 運用委員會ハ委員長隨時之ヲ招集ス

第四條 院長ハ學術研究獎勵金ノ運用方法ヲ運用委員會ニ諮問スヘシ

學術研究獎勵金ノ運用ハ左ノ方法ニ據ル

一 國債ノ應募又ハ買入

二 運用委員會ノ適當ト認ムル地方債、社債又ハ産業債券ノ應募又ハ買入

三 大藏省預金部ニ預入レ又ハ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行若ハ信託會社ニ定期預金若ハ金錢信託ト爲スコト

學術研究獎勵金ハ一時ノ必要アル場合ニ限り之ヲ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行ニ特別當座預金ト爲スコトヲ得

第五條 運用委員會ハ毎年度學術研究獎勵金運用報告書ヲ院長ニ提出シ院長ハ之ヲ總會ニ報告スヘシ

第二十三 學術研究獎勵金

一 御下賜金

皇室御下賜金ノ一

皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ明治四十三年ヨリ十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレ引續キ大正九年以降十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレタルモノニシテ賞典費ニ充ツ

皇室御下賜金ノ二

大正九年一月以降年々皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ金壹萬圓ツ、ヲ下賜セラレ更ニ昭和三年一月金壹萬圓ヲ下賜セラレタルモノニシテ學術研究ノ資ニ充ツ

二 寄附金

(一) 男爵三井八郎右衛門寄附金

男爵三井八郎右衛門ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓

宛合計金壹萬圓更ニ大正十年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ第二部ニ屬スル賞典費ニ充ツ

(二) 三菱合資會社寄附金

三菱合資會社々長男爵岩崎久彌ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓更ニ同會社々長男爵岩崎小彌太ヨリ大正十年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ賞典費ニ充ツ

(三) 工學博士藥學博士高峰讓吉寄附金

大正元年工學博士藥學博士高峰讓吉ヨリ金五千圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利殖金ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(四) 男爵住友吉左衛門寄附金

男爵住友吉左衛門ヨリ大正元年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附シ更ニ大正十一年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ



、合計金壹萬圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(五) 男爵古河虎之助寄附金

男爵古河虎之助ヨリ大正二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓更ニ大正十二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(六) 男爵藤田平太郎寄附金

大正四年男爵藤田平太郎ヨリ金貳萬貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件ニヨリ金貳千圓ヲ羅馬法學書出版費補助トシテ之ヲ使用シ金壹萬圓ヲ羅馬法學獎學資金トシ金壹萬圓ヲ採鑛冶金學及關係學科獎學資金トシ各獎學資金ヨリ生スル利殖金ヲ東京帝國大學及京都帝國大學ノ大學院又ハ分科大學在學中ノ學生ノ獎學費ニ充ツ

(七) 三井合名會社寄附金

大正五年三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ左ノ出版費トシテ金參千圓ヲ寄附セルモノナリ

金壹千圓 大日本數學史ノ增補出版費

金貳千圓 伊能忠敬測地事蹟調查事項出版費

(八) 山下龜三郎寄附金ノ一

山下龜三郎ヨリ大正五年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ船舶航海其他之ニ關スル學術研究ノ資ニ充ツ

但シ右金額ノ納付方法ハ使途ノ狀況ニ於テ隨時之ヲ變更スルコトヲ得

(九) 山下龜三郎寄附金ノ二

山下龜三郎ヨリ大正十二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ國際關係ノ學事費ニ之ヲ使用ス

(一〇) 故桂公爵記念事業會寄附金

大正六年故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一ヨリ學術研究獎勵ノ爲金貳萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

元金ハ桂學術獎勵基金トシテ保存シ之ヨリ生スル利殖金ノ全部又ハ一部ヲ

- 一 學術研究ニ依リ社會ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタリト認メラル、者ニ賞トシテ與フルカ又ハ
- 二 學術研究費補助トシテ之ヲ使用シ
- 三 孰レモ桂學術獎勵基金ニ據リタルコトヲ表明スルコト但シ場合ニ依リ(一)若クハ(二)ヲ選行シ又ハ二者ヲ併行スルハ帝國學士院ノ任意タルヘキコト

(一一) 子爵夫人末松生子子寄附金

大正七年子爵夫人末松生子ヨリ羅馬法獎勵資金トシテ有價證券額面金五千百圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

資金ノ利殖金ヲ以テ毎年若干宛羅馬法律書ヲ購入シ適宜ノ方法ニ依リ可然學生ニ之ヲ分與シ又ハ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シテ之ニ寄贈スヘキコト尙ホ必要ノ場合ニハ右法律書ノ印刷費ニ充ツルコト

(一二) 松方公爵米壽祝賀會寄附金

大正十一年松方公爵米壽祝賀會發起人總代男爵阪谷芳郎平山成信

ヨリ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金トシテ金十八萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 本資金ハ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ利殖スルコト
- 二 元金ハ永ク之ヲ保存シ其ノ利子ノミヲ使用スルコト
- 三 利子ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル研究ノ補助褒賞等ニ使用スルコト
- 四 前項以外タリト雖モ帝國學士院ニ於テ相當ト認ムル事業ニ利子ヲ使用スルハ妨ケナキコト
- 五 利子ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告スルコト

同 追加寄附金ノ一

大正十二年四月松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成信ヨリ金五千四百五拾四圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ヨリ生スル利子ニ加ヘ獎學ノ目的ニ使用ス

同 追加寄附金ノ二

大正十二年五月松方公爵米壽祝賀會殘務整理委員男爵阪谷芳郎ヨリ金五百六拾圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學

資金ノ中へ加へ使用ス

(一三) 財團法人原田積善會寄附金

財團法人原田積善會理事原田二郎ヨリ大正十二年以降壹百箇年間  
毎年金壹萬圓(四月及九月ノ兩月ニ分納)ツ、合計金壹百萬圓ヲ寄附  
セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 金壹萬圓ノ内金二千圓ハ之ヲ原田二郎獎學基金トシテ積立テ適當ノ方法ヲ以テ永遠ニ利殖スルコト  
但シ五十年後ニアリテハ右基金ヨリ生スル利子ヲ帝國學士院ニ於テ適宜使用スルモ妨ケナキコト
- 二 金壹萬圓ノ内金八千圓ハ毎年獎學ノ爲使用スルコトトシ其方法ハ總テ帝國學士院ニ一任スルコト
- 三 本寄附金ニヨリ施行シタル事項ハ毎年之ヲ原田積善會ヘ報告スルコト

(一四) 高峰保全株式會社寄附金

高峰保全株式會社取締役鹽原又策ヨリ賞又ハ研究資ノ基金トシテ  
大正十二年以降五箇年間毎年金五千圓(一月及七月ノ二期ニ分納)ツ  
、合計金貳萬五千圓ヲ寄附セルモノニシテ其ノ利殖金ヲ學術研究  
ノ賞又ハ資トシテ使用ス

(一五) 三共株式會社寄附金

三共株式會社取締役鹽原又策ヨリ前記高峰保全株式會社寄附ニ係  
ル基金ノ利子ヲ大正十三年ヨリ金壹千圓ツ、使用シ得ル爲其ノ不  
足補充ノ目的ヲ以テ大正十二年ヨリ三箇年ニ涉リ金貳千圓ヲ寄附  
セルモノナリ

(一六) 大阪毎日新聞社長本山彦一寄附金

大阪毎日新聞社長本山彦一ヨリ東宮御成婚記念學術獎勵資金トシ  
テ大正十三年以降十箇年間毎年金壹萬圓ツ、合計金拾萬圓ヲ寄附  
セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 毎年金壹萬圓ノ中金四千圓ハ賞金トシ金六千圓ハ研究資金トシテ之ヲ使用セラレタキコト
- 二 賞ハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞」ト稱シ賞牌及賞記ト共ニ全金壹千圓宛四人  
ニ之ヲ授與セラレタキコト 但シ賞牌ノ制式ハ貴院ニ一任スルコトトシ其ノ作製ニ要スル費用ハ別  
ニ本社ヨリ之ヲ貴院ニ納付ス
- 三 受賞者ナキトハ賞金ノ一部又ハ全部ヲ遲時翌年ニ繰越シテ使用セラル、モ妨ケナキコト

學術研究獎勵金

四 研究資金ノ使用方法ハ之ヲ貴院ニ一任スルモ該資金使途ノ事項ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東京御成婚記念」ノ稱ヲ冠セラレタキコト

(一七) メンデンホール寄附金

米國人元東京大學教師故トマス、メンデンホールノ遺言ニ因リ同人息チャールズ、メンデンホールヨリ大正十四年米貨二千五百弗ヲ寄附セルモノニシテ天文學及物理學ニ關スル獎學費ニ充ツ

(一八) 小池厚之助寄附金

小池國三ノ遺志ニ依リ同人息小池厚之助ヨリ大正十四年五月金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金總額ハ之ヲ基金トシテ永久ニ保存シ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ利殖スルコト
- 二 右基金ヨリ生スル利子ハ貴院ノ選定ニ依ル學術研究ノ補助資金ニ充ツルコト
- 三 右基金ヨリ生スル利子ノ中ヨリ毎年金參千圓ヲ控除シ其ノ殘額ノ一半ハ醫學ノ研究補助費ニ充テ他ノ半額ハ一般研究ノ補助費ニ充ツヘキコト
- 四 上記控除セル金參千圓ハ特別補助資金トシテ毎年之ヲ積立テ利殖シ特ニ多額ノ資金ヲ投スルニアラサレハ研究ヲナシ得サルカ如キ特別重要ナル事項ノ出現ヲ俟テ之ニ十分ナル補助ヲ與フル事

同 追加寄附金

小池厚之助ヨリ大正十五年三月金壹萬四千七百貳拾圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(一九) 岡野節寄附金

岡野節ヨリ大正十五年二月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ右基金ハ之ヲ永久ニ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ學術研究ノ補助費ニ充ツ

同 追加寄附金

男爵岡野節ヨリ大正十五年三月金參拾貳圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(二〇) 小津清左衛門寄附金

小津清左衛門ヨリ學術獎勵金トシテ大正十五年九月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件ニ依リ「南朝ノ柱石北畠親房及びその子孫ノ事蹟」ノ研究費ニ充ツ

(二一) 中澤つる寄附金

故中澤房則ノ遺志ニ依リ中澤つるヨリ學術獎勵金トシテ昭和二年十月有價證券額面金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ以テ一般學術研究費補助ニ充ツ

第二十四 役員

|            |       |      |         |
|------------|-------|------|---------|
| 大正十五年二月十七日 | 院 長   | 理學博士 | 櫻 井 錠 二 |
| 昭和二年七月一日   | 幹 事   | 文學博士 | 姊 崎 正 治 |
| 大正十五年三月二十日 | 第一部々長 | 法學博士 | 富 井 政 章 |
| 昭和二年七月一日   | 第二部々長 | 醫學博士 | 佐 藤 三 吉 |

第二十五 會員及客員

一 會 員

|             |     |      |           |
|-------------|-----|------|-----------|
| 明治三十九年六月十二日 | 第二部 | 醫學博士 | 三 宅 秀     |
| 同           | 第二部 | 理學博士 | 櫻 井 錠 二   |
| 同           | 第二部 | 理學博士 | 小 藤 文 次 郎 |
| 同           | 第一部 | 文學博士 | 坪 井 九 馬 三 |
| 同           | 第二部 | 醫學博士 | 小 金 井 良 精 |
| 同年 九月十四日    | 第二部 | 理學博士 | 長 井 長 義   |

會員及客員

|      |      |       |      |      |        |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|-------|------|------|--------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 同    | 同    | 同     | 同    | 同    | 同      | 同     | 同     | 同     | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    |
| 第二部  | 第二部  | 第二部   | 第二部  | 第二部  | 第一部    | 第一部   | 第一部   | 第一部   | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  |
| 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士  | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士   | 醫學博士  | 醫學博士  | 醫學博士  | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 | 醫學博士 |
| 古市公威 | 田中館愛 | 北里柴三郎 | 富井政章 | 土方寧  | 藤澤利喜太郎 | 三浦謹之助 | 長岡半太郎 | 一木喜徳郎 | 上田萬年 | 松村任三 | 三上參次 | 中村精男 | 金井   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |

會員及客員

|              |          |             |           |              |            |            |           |           |      |          |      |           |          |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--------------|----------|-------------|-----------|--------------|------------|------------|-----------|-----------|------|----------|------|-----------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 明治四十二年六月二十二日 | 同年十一月三十日 | 同 四十四年一月十一日 | 同年 四月二十八日 | 同 四十五年二月二十七日 | 大正二年五月二十九日 | 同 六年六月二十二日 | 同年 十二月廿六日 | 同 七年三月廿五日 | 同    | 同年 六月廿五日 | 同    | 同 八年二月廿八日 | 同年 三月廿六日 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 第二部          | 第二部      | 第一部         | 第二部       | 第一部          | 第一部        | 第一部        | 第一部       | 第一部       | 第一部  | 第二部      | 第二部  | 第二部       | 第一部      | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  |
| 醫學博士         | 理學博士     | 法學博士        | 理學博士      | 文學博士         | 法學博士       | 文學博士       | 法學博士      | 文學博士      | 醫學博士 | 理學博士     | 法學博士 | 理學博士      | 文學博士     | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 |
| 佐藤三吉         | 平山信      | 美濃部達吉       | 石川千代松     | 高楠順次郎        | 山崎覺次郎      | 服部宇之吉      | 小野塚喜平次    | 村上專精      | 伊藤隼三 | 水野敏之     | 織田萬  | 池田菊苗      | 白鳥倉吉     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |

|           |     |      |        |
|-----------|-----|------|--------|
| 大正八年四月廿九日 | 第二部 | 醫學博士 | 山極勝三郎  |
| 同年十二月五日   | 第一部 | 文學博士 | 松本文三郎  |
| 同 九年五月一日  | 第一部 | 法學博士 | 春木一郎   |
| 同年十月廿七日   | 第二部 | 理學博士 | 三好學郎   |
| 同年十一月廿九日  | 第一部 | 法學博士 | 立作太郎   |
| 同年十二月二十七日 | 第二部 | 醫學博士 | 荒木寅三郎  |
| 同 十年一月廿四日 | 第一部 | 文學博士 | 松本亦太郎  |
| 同 十一年四月七日 | 第二部 | 理學博士 | 佐々木忠次郎 |
| 同         | 第一部 | 法學博士 | 福田德三   |
| 同年十二月廿六日  | 第二部 | 理學博士 | 本多光太郎  |
| 同 十二年三月十日 | 第二部 | 工學博士 | 高松豐吉郎  |
| 同年五月三日    | 第二部 | 醫學博士 | 宮入慶之助  |
| 同年十一月十四日  | 第二部 | 醫學博士 | 野口英世   |
| 同年十一月廿八日  | 第一部 | 文學博士 | 姊崎正治   |

|           |     |      |       |
|-----------|-----|------|-------|
| 大正十四年二月三日 | 第一部 | 法學博士 | 田島錦治  |
| 同年四月八日    | 第一部 | 文學博士 | 市村瓊次郎 |
| 同年六月二十七日  | 第二部 | 藥學博士 | 田原良純  |
| 同         | 第一部 | 文學博士 | 三宅米吉  |
| 同         | 第一部 | 法學博士 | 横田秀雄  |
| 同         | 第一部 | 農學博士 | 新渡戸稻造 |
| 同         | 第一部 | 法學博士 | 德富猪一郎 |
| 同         | 第二部 | 工學博士 | 伊東忠太郎 |
| 同         | 第二部 | 理學博士 | 岸上鎌吉  |
| 同         | 第一部 | 文學博士 | 狩野直喜  |
| 同         | 第二部 | 農學博士 | 吉川祐輝  |
| 同         | 第二部 | 理學博士 | 丘淺次郎  |
| 同         | 第一部 | 文學博士 | 大塚保治  |
| 同         | 第一部 | 法學博士 | 安達峰一郎 |

大正十四年六月二十七日

|      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    |
| 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  | 第二部  |
| 理學博士 | 理學博士 | 理學博士 | 理學博士 | 理學博士 | 理學博士 | 理學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 |
| 中村清  | 中山直  | 今村明  | 木村榮  | 山田三  | 加藤正  | 高野三  | 倭國一  | 吉田靜  | 田丸卓  | 瀧精一  | 鈴木梅太 | 桑木殿  | 平山清  | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    |
| 二    | 方    | 恒    | 榮    | 良    | 治    | 郎    | 一    | 致    | 郎    | 一    | 郎    | 翼    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    |

|      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    | 同    |
| 第二部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  | 第一部  |
| 理學博士 | 法學博士 | 法學博士 | 法學博士 | 法學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 |
| 高木貞  | 中山   | 今村   | 木村   | 山田   | 加藤   | 高野   | 倭國   | 吉田   | 田丸   | 瀧精   | 鈴木   | 桑木   | 平山   | 末廣   | 末廣   | 末廣   | 末廣   | 末廣   | 末廣   |
| 治    | 方    | 恒    | 榮    | 良    | 治    | 郎    | 一    | 致    | 郎    | 一    | 郎    | 翼    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    | 次    |



|          |        |     |      |      |
|----------|--------|-----|------|------|
| 同年       | 七月廿八日  | 第一部 | 法學博士 | 矢作榮藏 |
| 同年       | 十一月一日  | 第二部 | 理學博士 | 吉江琢兒 |
| 同年       | 十一月廿五日 | 第一部 | 文學博士 | 幸田成行 |
| 昭和三年二月一日 |        | 第一郎 | 文學博士 | 新村出  |
| 同年       | 四月六日   | 第一部 | 法學博士 | 高田早苗 |
| 同年       | 五月一日   | 第二部 | 醫學博士 | 稻田龍吉 |

二客員

大正十四年十二月十二日  
昭和三年五月十二日

(追記)

第二十六 諸常設委員及事業擔當會員囑託員

一 帝國學士院紀事及別冊出版委員

|              |      |      |       |
|--------------|------|------|-------|
| 大正十五年三月二十日   | 委員長  | 文學博士 | 姊崎正治  |
| 昭和二年七月一日     | 編纂主任 | 醫學博士 | 三浦謹之助 |
| 自明治四十四年六月十二日 |      | 理學博士 | 長岡半太郎 |
| 至昭和二年七月一日    |      |      |       |

サー、チャールレス、エリオット

シルバン、レビ

|            |    |      |       |
|------------|----|------|-------|
| 昭和二年七月一日   | 同  | 法學博士 | 福田德三  |
| 大正十四年九月十九日 | 委員 | 理學博士 | 平山信   |
| 昭和二年七月一日   | 同  | 法學博士 | 美濃部達吉 |
| 同          | 同  | 理學博士 | 石川千代松 |
| 同          | 同  | 文學博士 | 高楠順次郎 |
| 同          | 同  | 文學博士 | 松本亦太郎 |
| 大正十五年四月十二日 | 同  | 文學博士 | 吉川祐輝  |
| 昭和二年七月一日   | 同  | 農學博士 | 山崎直方  |
| 大正十四年九月十九日 | 同  | 理學博士 | 今村明恒  |
| 昭和二年七月一日   | 同  | 理學博士 | 依國一   |
| 同          | 同  | 工學博士 | 鈴木梅太郎 |
| 同          | 同  | 農學博士 | 鈴木貞治  |
| 同          | 同  | 理學博士 | 高木貞治  |

二 學術研究獎勵金運用委員

|           |     |      |      |
|-----------|-----|------|------|
| 昭和三年二月十四日 | 委員長 | 文學博士 | 姊崎正治 |
|-----------|-----|------|------|

同 同 同 同 同 同 同

委員

醫學博士 佐藤三吉  
醫學博士 山崎覺次郎  
法學博士 加藤正治  
法學博士 依國一  
工學博士 矢作榮藏  
法學博士 木村正義  
會計課長 省

三 和算史調査

大正六年十月十二日

擔當會員

理學博士

藤澤利喜太郎

同十五年十二月十八日

囑託

同十二年十一月廿一日

四 帝室制度ノ歴史的研究

大正九年三月十六日

擔當會員(主任)

文學博士

三上參次

同十五年二月主任推薦

同

文學博士

美濃部達吉

同十一年二月廿五日

同

文學博士

服部宇之吉

同九年五月廿五日

囑託員

文學博士

和田英哉

同

同

文學博士

山本信哉

大正九年九月六日

同

文學博士

田邊勝哉

同年十月五日

同

文學博士

淺野長武

同十一年二月十六日

同

文學博士

諸野長次

同十二年四月廿六日

同

文學博士

龍橋次

同十三年十一月一日

同

文學博士

芝葛盛

同十四年一月三十一日

同

文學博士

黒井大圓

同

同

文學博士

藤原猶雪

同

同

文學博士

高橋隆三

昭和二年十月二十日

同

文學博士

武田政一

五 我邦ト歐洲諸國トノ交通史料ノ蒐集及研究

大正十年五月十日

擔當會員

文學博士

三上參次

事業擔當會員囑託員及諸常設委員

同十二年二月十三日

囑託員

文學博士

村上直次郎

六 北畠親房及びその子孫の事蹟研究

昭和二年二月十二日

擔當會員

文學博士

三上參次

昭和二年四月二十三日

囑託員

伊木壽一

第二十七 事務職員

明治四十年六月十日

書記

文部商大事務官兼  
東京商大事務官兼  
學術研究會議  
書記兼文部屬

佐原茂一

昭和二年七月二十五日

同

同

濱利雄

明治四十二年十二月八日

同

同

金坂周次

昭和三年四月三十日

囑託

飯沼守麿

昭和二年七月三十一日

同

山鹿規夫

大正十五年六月十二日

同

市橋靜子

昭和三年四月十六日

同

菊地恒子

昭和二年三月十七日

同

津田虎雄

第二十八 論文

(自明治四十年三月略之)  
(至昭和二年三月略之)

提出年月日

題

目

提出者又講演者

昭和二年  
四、二二日

イデヤル論に於ける二三の函數のマキシマル、オルドメング  
に就て (高木貞治紹介)

會員

末綱恕一

同

ネオン線のセーマン逆効果

會員

長岡半太郎

同

アルカリ土の瞬時スペクトグラム

會員

長岡半太郎

同

爆發放電に依る種々の氣球内に於けるマグネシウム線の反轉

會員

長岡半太郎

同

電流計コイルの最善なる形狀

(長岡半太郎紹介)

會員

池邊常刀

同

不減極短電磁波發生の新方法

(本多光太郎紹介)

會員

岡部金次郎

同

横笛に關する實驗的研究

會員

中村嘉次郎

同

或る珍稀なる植物に就て

會員

三好嘉次郎

同

トラケロプテラ、オケラの外部形態に就て

會員

山崎直方

同

昭和二年丹後地震の主斷層線に就て

會員

山崎直方

同

丹後大地震特に其の震源の立体的研究に就て

會員

山崎直方

同

新小惑星「東京第五」

(平山信紹介)

會員

寺田寅彦

同

金屬薄膜の熱電氣的現象

會員

寺田寅彦

胃に於ける脂肪分解素及び其の適度

臟器に於ける脂肪分解素と其の酸及びアルカリに對する抵抗

(三浦謙之助紹介)

會員

大正十五年但馬地震略報

會員

バルベリニ文書署名切支丹宗徒の運命

會員

一九二六年間に於ける萬岡北緯共同緯度觀測事業の假結果

會員

太陽大氣中光線の屈折

會員

(平山信紹介)

アルカリ元素の瞬時スペクトログラム

會員

塩化アルカリの瞬時スペクトログラム

會員

半無限大彈性球の圓形荷重に依る歪

會員

氣流を寫真する新しき方法

(長岡半太郎紹介)

會員

組織及鉢液中のシステイン、シスチン及其誘導体を測定する

會員

方法

シアニン色素に關する研究第一及第二報

會員

バルビツル酸誘導体とアルデヒドの反應

會員

(以上二件眞島利行紹介)

會員

インドール類に於けるグリニアール反應の機構に就て

會員

關東地方に於ける地震帶の短期計統的研究

會員

緩慢なる地震動の觀測に就て

會員

地球の激震帶と其の長週期移動に就て

會員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

流体壓の瓦斯論的定義に就て

會員

松毛蟲を食する鳥類に就て

會員

外部因子の蚤兒眼性に及ぼす影響

會員

小麥屬の種間に於ける染色体の比較

會員

常幅最小面積の曲線に關するアラシユケの定理の解折的證明

會員

N次元空間の射影幾何學に於ける二元曲面族の基本形式

會員

一次式の絶対値のオルダーに就て

會員

太陽大氣中光線の曲折が太陽の自轉の測定に及ぼす影響

會員

銅金銀の瞬時スペクトログラム

會員

亜鉛、カドミウム及びタリウムの瞬時スペクトログラム

會員

アルミニウム、ホロン及びタリウムの瞬時スペクトログラム

會員

アルブリンの一新合成法に就て

會員

鷺ザルコマの本骸が酵素様物質なりとの主張に就て

會員

仙臺近傍利府のダオネラ層

會員

「かき」に寄生する新しきイクトアオテラ類に就て

會員

臟器リパゼと規尼的作用

會員

十二指腸蟲食血の血中類脂肪

會員

會員

會員

會員

芝 龜 吉

小 島 俊 文

永 盛 新 三 郎

香 川 冬 夫

藤 原 松 三 郎

河 口 商 次

深 澤 清 吾

早 乙 女 清 房

長 岡 半 太 郎

披 山 大 三

二 神 哲 五 郎

田 中 宗 愛

中 原 瑞 穂 郎

鷺 見 瑞 穂 郎

矢 部 長 克 郎

清 水 三 郎

丘 淺 次 郎

行 徳 健 助

堂 野 萬 維 摩 郷

行 徳 健 助

小 藤 文 次 郎

姉 崎 正 治

木 村 榮

早 乙 女 清 房

長 岡 半 太 郎

二 神 哲 五 郎

長 岡 半 太 郎

白 井 俊 明 郎

末 廣 恭 二

奧 田 讓

尾 形 輝 太 郎

赤 堀 四 郎

眞 島 利 行

星 野 俊 行

今 田 明 恒

保 田 桂 二

今 村 恒 恒

寺 田 直 己

宮 部 直 己

同 同

十二指腸蟲食血に於ける赤血球の恢復  
腎臟神經の尿分泌に及ぼす影響に就て  
(以上四件三浦謙之助紹介)

水素の燃焼に關する研究(第四報)水素の燃焼範圍に對する二  
メチルセレン及二メチルテルミの作用  
(依國一紹介)

エチルエーテルの蒸氣と空氣との混合氣體の點火に必要な  
最小エネルギーに對する臭化エチルの影響  
(依國一紹介)

エチルエーテルの蒸氣と空氣との混合氣體の點火に必要な  
最小エネルギー  
(依國一紹介)

土壤中の原生動物  
(佐々木忠次郎紹介)

平面幾何學の位相學的建立

超越數について  
(以上二件藤原松三郎紹介)

炭素、珪素、錫及鉛の瞬時スペクトログラフ

アンチモニ、蒼鉛、マンガン、臭素及びセリウムの瞬時スペ  
クトログラフ

クロロム、モリアデン、テルリユール及びタンクステンの瞬時  
スペクトログラフ

鐵、コバルト、ニッケル、パラヂウム、イリヂウム及び白金の瞬  
時スペクトログラフ  
(長岡半太郎紹介)

常周波發振器と其周波數  
(長岡半太郎紹介)

脂肪の營養價に就て  
(以上二件鈴木梅太郎紹介)

租オリザニンの分解により得らるゝB酸の合成  
(以上二件鈴木梅太郎紹介)

- 小林俊二
- 長澤源
- 田中芳雄
- 永井雄三郎
- 永井雄三郎
- 降旗三七男
- 濵谷正健
- ウイレルム、シュユース
- 泉信一

- 長岡半太郎
- 坂山大三郎
- 二神哲五郎

- 拔山平三
- 永井健一
- 尾崎準一
- 佐橋佳一

同 同

同 年  
一〇、一二日

逆ウイデーマン效果並にトルク測定に於ける其の應用に就て  
高速内燃機關用電氣的指壓計  
(以上二件寺田寅彦紹介)

廻轉する物体により生ずる渦流に就て  
(以上二件寺田寅彦紹介)

蟋蟀科昆蟲の分類に關する新意見  
蟋蟀科昆蟲に於ける細胞學的研究(本邦産十九種に關する精  
母染色体に就ての豫報)

螢イカの發光本態に就ての豫報  
家禽に於ける指の爪に就ての豫報  
(以上四件石川千代松紹介)

オゾプランクス、マルゴイの日本に産すること及びこの蛭の  
記載  
(以上四件石川千代松紹介)

コイルター及びレントゲン光線で扱つた植物の根の先きの細  
胞學上の變北の比較研究  
(池野成一郎紹介)

腎臟を刺戟する物質の腎臟の瓦斯代謝に及ぼす影響に就て  
(三浦謙之助紹介)

水素の燃焼に關する研究(第五報)、水素の燃焼範圍に對する  
四メチル錫並に四メチル鉛の影響  
(依國一紹介)

夜盜蛾科に屬する新屬新種スードパノリスタコチに就て  
(佐々木忠次郎紹介)

カナヘビの食物を取る習性  
(岸上鎌吉紹介)

鍍山に於ける切支丹傳道  
(藤原松三郎紹介)

四次元の射影的究問に於ける二次元のマニフォルドの理論  
(藤原松三郎紹介)

- 小林辰男
- 小幡重一
- 寺田寅彦
- 服部邦男
- 大町文衛
- 島權次郎
- 影山藤作
- 丘淺次郎
- 小室英夫
- 鍋木博紀
- 田中芳雄
- 永井雄三郎
- 稻葉直通
- 美濃部熙
- 姉崎正治
- 河口商次

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

ラヂオ周波数にて發光せるネオン線の反轉

會員

瞬時スペクトログラムを得るに用ゐたる衝擊放電の一般性質

五米測竿のカドミウム赤線光波長による標準測定

米原器第十號及び第二十號のカドミウム赤線光波長による測定 (以上二件長岡半太郎紹介)

分割陽極マグネトロンによる超短電磁波の發生 (本多光太郎紹介)

空氣に對する變る速さのビーター管を以てする測定 (田丸卓郎紹介)

ビオスに關する研究(第三報)

グリセリドの分離に就て 第一報 第三報

酸素反應の可逆性に就て 第一報 第三報 (以上三件鈴木梅太郎紹介)

動植物中に於ける蛋白質の性に因る相違の化學的研究 (眞島利行紹介)

關東山地に於て最近發見されたる古生層の石炭

阿蘇火山の皿石につきて (以上二件山崎直方紹介)

針金の局部的加熱による熱電流に就て

對流に因る週期的柱狀渦の生成に就て

會員

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |        |        |        |        |        |        |        |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 寺田 實彦 | 玉井 俊正 | 原田 準平 | 徳永 重康 | 渡邊 修吉 | 阿部 哲太 | 丸山 文徳 | 鈴木 文徳 | 増山 文徳 | 横山 文徳 | 鈴木 文徳 | 鈴木 文徳 | 和木 文徳 | 岡部 金治郎 | 今泉 門助 | 渡邊 修三郎 | 正木 修五郎 | 波木 修三郎 | 二神 哲大郎 | 長岡 半太郎 | 三岡 忠太郎 | 長岡 雄太郎 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 一年 二、二日

線光火花の火花に關する物理的研究 (寺田實彦紹介)

蚕兒の雌の副生殖器官の形成に就て (石川千代松紹介)

連續海鞘類の新屬テンドロクログエラに就て

日本産ヘロソオラに就て (池野成一郎紹介)

防風林の保護上の價に就ての記 (小金井其精紹介)

臺灣蕃族計測概報

腰髓の後根中に副交感神経纖維を組織學的に現はすこと (以上二件三浦謹之助紹介)

日本樟腦の心臓に於ける作用に就て

廿日鼠に於ける移植乳癌に對する枕体形成に關する實驗的研究 (依國一紹介)

偏心荷重を受くる平板内の内應力 (岸上鐵吉紹介)

異種族間の交配に就て (佐々木忠次郎紹介)

蝙蝠蝠幼蟲の絹絲線に就て

日本産ボトリルス類の調べ (豫報) (丘淺次郎紹介)

沙環類に半寄生する海蜘蛛類に就て (山極勝三郎紹介)

二次レントゲン線の惡性腫瘍に及ぼす作用に就て

會員

- |       |        |      |       |       |        |       |       |        |        |       |     |       |       |       |       |        |       |       |
|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 山田 保城 | 鹽谷 不二雄 | 大谷 廣 | 丘 淺次郎 | 石森 直人 | 楠木 外岐雄 | 中山 岩藏 | 森本 茂樹 | 塚原 重三郎 | 山極 勝三郎 | 田村 憲三 | 吳 建 | 宮内 悦藏 | 松村 徳二 | 筒木 徳二 | 丘 淺次郎 | 梅谷 與七郎 | 關口 吉郎 | 中谷 吉郎 |
|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|

同 同

シャイロスコープ運動の原理を應用せる扇風機的首振り装置  
牽引内方に因りて金屬の破損し行く狀況に就て

青化水素の研究

大村藩の見聞集について

補助電磁装置を有する敏感天秤

凹格子サルムマー、ゲルゲ板との組合にて觀測したるネオン  
線の反轉

日本に於ける「かばこけさう」科の發見

石油中のフェノール類

腎興奮及び腎刺激物による組織的變化

塩類による尿分泌間の酸素消費の變化

砒石及びアンチモン屬による尿分泌と關連せる腎臟の瓦斯代  
謝の變動

蝦蟇の腎に於ける血糖の運命

實驗的蛋白尿 (以上五件三浦謹之助紹介)

小農の基礎概念 (矢作榮藏紹介)

美濃に於て發見されたる古生層の石炭 (山崎直方紹介)

家禽を害するセラトボゴン蠅

會員 末廣恭二

會員 湯淺龍一

會員 原龍三郎

會員 篠崎正治

會員 高室一平

會員 長岡半太郎

會員 池田忠雄

會員 長岡半太郎

會員 三島忠雄

會員 今村駿一郎

會員 田中芳雄

會員 小林良之助

會員 月岡道保

會員 夏禹鼎

會員 小松原誠三

會員 細谷誠

會員 林音彦

會員 横井時敬

會員 德永重康

會員 佐々木忠次郎

同 同

有馬故老物語の記事について

息短篇其他に現れたるころび伴天連

貯藏米穀に於ける炭酸瓦斯入密閉及密閉の影響

砂層の段階的崩塌に就て (吉川祐輝紹介)

支那地震の頻度と其位置の移動に就て (寺田寅彦紹介)

日本に産するロパレアの二新種に就て (寺田寅彦紹介)

ギムノブレウルス、シンナツスの興味ある本能 (丘淺次郎紹介)

エチルエーテル並に炭化水素の燃焼範圍に對するアンチノウ  
ク剤の作用 (丘淺次郎紹介)

エチルエーテル空氣混合氣體の點火に必要な電圧エネルギ  
ーに對するアンチノウク剤の作用 (赤堀四郎)

糖類に依るαアミノ酸類の酸化 (眞島利行紹介)

磁場に於ける爆發放電に依る金屬の飛散

磁場に於ける放電に於るスパーク線の澗去

原子の構造より見たる磁電の起源 (寺田寅彦紹介)

原子核の熱電離に就て

種々なるレプトスピラ免疫學的關係

種々なるレプトスピラ外界影響に對する抵抗

會員 姊崎正治

會員 近藤萬太郎

會員 岡村保

會員 宮田直己

會員 宮部直己

會員 丘淺次郎

會員 本多彦九郎

會員 永井雄三郎

會員 赤堀四郎

會員 長岡半太郎

會員 二神哲五郎

會員 本多光太郎

會員 鈴木清太郎

會員 嵐澤總一

會員 安生三郎

|                |                                   |       |
|----------------|-----------------------------------|-------|
| 同              | 熱に於ける組織内の水素イオン濃度                  | 尾川順太郎 |
| 同              | 肝及び脾の組織呼吸に及ぼす網状内皮細胞の閉塞の影響に就て      | 岡本陽七  |
| 同              | 膝に於けるテンゲルハンス鳥のアルファ及びベータ細胞に就て      | 岩澤治義  |
| 同              | 四國祖谷溪谷中の含礫片岩に就て                   | 宮入清四郎 |
| 同              | 血糖降下の作用を有するクアニチン誘導体に就て            | 鈴木    |
| 同              | 低壓空氣中に於て媒電体の板の上に生ずる特殊の放電様式に就て     | 熊谷真一  |
| 同              | 小惑星の軌道の修正                         | 伊藤直   |
| 同              | 肥前不動山に於ける切支丹傳説                    | 秋山清次  |
| 同              | 世に知られざる日本の一民間宗教                   | 姉崎正治  |
| 同              | 羽をつけた翼に關する實驗                      | 石橋智信  |
| 同              | ワシ、ペン、ベルグ氏膽色素反應の溶血性黃膽に於て遲延する原因の探究 | 和田小六  |
| 同              | 寺小屋と藩營と相互影響                       | 祖父江勘文 |
| 同              | 地震波の群と震源の見掛けの深さとの關係               | 石川    |
| 同              | ヒカリエビ科に就て                         | 末廣恭二  |
| 同              | 爆音の聽器迷路に及ぼす影響                     | 岸上謙吉  |
| 昭和三年<br>一、二、二日 | 發光バクテリアの三新種                       | 林外男   |
| 同              | 越後沿岸地方に於ける精密水準測量の結果に就て            |       |
| 同              | 關東地震後發見されたる海底變化に就て                |       |
| 同              | 關東地震後發見されたる陸地水平移動に就て              |       |
| 同              | 關東地震と連關せる地殻運動の意義                  |       |
| 同              | ヘミクレブシス、カスミアナの記載                  |       |
| 同              | レプト水母類に寄生するアクチニアの幼蟲に就て            |       |
| 同              | 美濃尾張に於ける切支丹迫害の文書及傳説               |       |
| 同              | 置換群のキャラクターの鞏和について(高木貞治紹介)         |       |
| 同              | アツフィン微分幾何學の相對幾何學的擴張               |       |
| 同              | 直交函數の級數について                       |       |
| 同              | 乾燥せる鶏肉腫に器械的傷害を與へたる時の結果            |       |
| 同              | 細胞内の水素イオン濃度の研究 第一—第二              |       |
| 同              | 組織内の反應に就て                         |       |
| 同              | 關東大地震並に丹後大地震に於ける大斷層の横ずれに就て        |       |
| 同              | 無限大の有孔板が引張らるゝときの主要内力線圖            |       |

|   |                            |                   |
|---|----------------------------|-------------------|
| 同 | 發光バクテリアの三新種                | 岸上貞治郎             |
| 同 | 越後沿岸地方に於ける精密水準測量の結果に就て     | 今村明恒              |
| 同 | 關東地震後發見されたる海底變化に就て         | 山崎直方              |
| 同 | 關東地震後發見されたる陸地水平移動に就て       | 寺田寅彦              |
| 同 | 關東地震と連關せる地殻運動の意義           | 寺田寅彦              |
| 同 | ヘミクレブシス、カスミアナの記載           | 内田                |
| 同 | レプト水母類に寄生するアクチニアの幼蟲に就て     | 丘淺次郎              |
| 同 | 美濃尾張に於ける切支丹迫害の文書及傳説        | 柴崎正亮              |
| 同 | 置換群のキャラクターの鞏和について(高木貞治紹介)  | 柴田省               |
| 同 | アツフィン微分幾何學の相對幾何學的擴張        | ウイールヘルム、<br>シユエリス |
| 同 | 直交函數の級數について                | 陳建功               |
| 同 | 乾燥せる鶏肉腫に器械的傷害を與へたる時の結果     | 中原和郎              |
| 同 | 細胞内の水素イオン濃度の研究 第一—第二       | 尾河順太郎             |
| 同 | 組織内の反應に就て                  |                   |
| 同 | 關東大地震並に丹後大地震に於ける大斷層の横ずれに就て | 今村明恒              |
| 同 | 無限大の有孔板が引張らるゝときの主要内力線圖     | 岸上貞治郎             |



|   |   |    |       |
|---|---|----|-------|
| 同 | 瓦斯體と固體特に爆發生物の比熱に關する簡單なる法式<br>(俄國一紹介)                  | 會員 | 山家信次  |
| 同 | 切支丹傳道に關する日本記事の誇張                                      | 會員 | 姉崎正治  |
| 同 | 燃燒の球狀傳播の狀況に就て   | 會員 | 寺田寅彦  |
| 同 | 閃亞鉛鍍結晶の半面像性とエツキス線反射<br>(寺田寅彦紹介)                       | 會員 | 湯本清比古 |
| 同 | 臺灣南部のヒルド科に就て  | 會員 | 西川久正  |
| 同 | 西曆千九百二十七年に於ける萬國共同北緯緯度觀測事業の假結果                         | 會員 | 松川次郎  |
| 同 | 越後信濃地方精密水準測量の結果に關する研究増補                               | 會員 | 木村榮   |
| 同 | 膝臟分泌の量的評價に就て  | 會員 | 今村明恒  |
| 同 | 糖尿症に於ける膝臟の機能に就て (以上二件三浦謹之助紹介)                         | 會員 | 岡田清三郎 |
| 同 | 世に知られざる日本の一民間宗教(二禮拜と信徒の生活狀態)<br>(姉崎正治紹介)              | 會員 | 岡田清三名 |
| 同 | 椎茸中のエルゴステリンに就て<br>(鈴木梅太郎紹介)                           | 會員 | 岡田清三名 |
| 同 | 水素の燃燒範圍に對するエーテル、アルコール、アセトン並に<br>數種の炭化水素の作用<br>(俄國一紹介) | 會員 | 石橋智信  |
| 同 | フラン、エチルアミンの一新合成法<br>(鈴木梅太郎紹介)                         | 會員 | 鷺見瑞穂  |
| 同 | 磁場に於ける爆發的放電により散逸せる金屬粒の連珠光に就いて                         | 會員 | 田中芳雄  |

第二十九 出版

- 假名遣沿革史料 明治四十二年三月發行
- 帝國學士院紀事(英文) 第一卷第壹號 明治四十五年三月發行
- 帝國學士院紀事(英文) 第一卷第貳號 大正二年三月發行
- 帝國學士院第一部論文集(邦文) 第一號 大正二年六月發行
- 帝國學士院紀事(英文) 第一卷第參號 大正二年十一月發行
- 帝國學士院第二部メモアル(英文) 第一卷第壹號 大正二年十一月發行
- ユ帝欽定羅馬法學提要(末松謙澄翻譯) 第一卷第四號 大正二年十二月發行
- 帝國學士院紀事(英文) 第一卷第四號 大正三年十二月發行
- ウルピアース「羅馬法範」(末松謙澄翻譯) 大正四年七月三版發行
- 「ガローイウス」羅馬法解説(末松謙澄翻譯) 大正四年三月發行

出版

一〇三

○伊能忠敬(長岡半太郎監修大谷亮吉編著)

○和算ノ方陣問題(菊池大麓監修三上義夫編著)

○諸外國學士院ノ組織及授賞制(藤澤利喜太郎編)

○増修日本數學史(遠藤利貞遺著)

○帝國學士院紀事(英文)

第一卷第五號

大正七年十月發行

藤澤利喜太郎論文 代數的平均ニ就テ

大谷亮吉編著 伊能忠敬ノ傳記並ニ其事業概説

第二號

大正八年二月發行

○帝國學士院第一部論文集(邦文)

總編陳重著 諱ニ關スル疑

○帝國學士院紀事(歐文)

○帝國學士院紀事(歐文)

○帝國學士院紀事(歐文)

自第二卷第一號 大正十五年昭和二年發行  
至同 第十號  
自第三卷第一號 昭和二、三年發行  
至同 第十號  
自第四卷第一號 昭和三年發行  
至第四卷第四號

### 第三十 授賞事項及當該受賞者

明治四十四年七月五日

恩賜賞 第一號 地軸變動ノ研究特ニZ項ノ發見

理學博士 木村 榮

明治四十五年五月十二日

同 第二號 佛文日清戰役國際法論及佛文日露陸戰國際法論

同 第三號 日本醫學史 法學博士 ×有 賀 長 雄

同 第四號 公孫樹ノ精蟲ノ發見

同 第五號 蘇鐵ノ精蟲ノ發見 理學博士 ×平 瀨 作 五 郎

帝國學士院賞 第一號 「アドレナリン」ノ發見

工學博士 ×高 峰 讓 吉

大正二年七月五日

恩賜賞 第六號 續日本後紀纂詰

×村 岡 良 弼

同 第七號 腦神經起首ノ研究

醫學博士 上 坂 熊 勝

帝國學士院賞 第二號 外部寄生性吸蟲類ノ研究

理學博士 五 島 清 太 郎

同 第三號 軍艦ノ設計殊ニ巡洋戰艦ノ設計

近 藤 基 樹

授賞事項及當該受賞者

大正三年七月五日

恩賜賞 第八號 哺乳動物ノ心臟ニ於ケル刺戟傳導筋系統ノ研究 醫學博士 田原淳

帝國學士院賞 第四號 左氏會箋 ×竹添進一郎

同 第五號 力學研究 理學博士 ×日下部四郎太

大正四年七月五日

恩賜賞 第九號 「スピロヘータバリーダ」ノ研究 醫學博士 野口英世

帝國學士院賞 第六號 雲養集 子 雷 ×金允植

同 第七號 蠶ノ遺傳研究 農學博士 ×外山龜太郎

大正五年七月二日

恩賜賞 第十號 假名ニ關スル研究 ×大矢透

同 第十一號 周公ト其時代 文學博士 ×林泰輔

同 第十二、十三號 黃疸出血性「スピロヘータ」病ニ關スル共同研究 醫學博士 ×稻田龍吉

帝國學士院賞 第八、九、十、十一號 工學博士 ×鳥瀨右一

無線電信電話ニ使用スル電氣振動間隙ニ關スル研究 北村政次郎

同 第十二號 鐵ニ關スル研究 理學博士 本多光太郎

大正六年七月一日

恩賜賞 第十四號 日本歌學史及和歌史ノ研究 文學博士 佐々木信綱

同 第十五號 「ラウエ」映畫ノ實驗方法及其說明ニ關スル研究 理學博士 寺田寅彦

帝國學士院賞 第十三號 漆ノ主成分ニ關スル研究 理學博士 眞島利行

同 第十四號 「スピネル」ノ原子配置並ニ歪ヲ受ケタル物體ノ「レントシエン」線検査ニ關スル研究 理學博士 西川正治

大正七年五月十二日

恩賜賞 第十六號 宸記集及皇室御撰解題 和田英松

同 第十七號 印度六派哲學 木村泰賢

恩賜賞 第十八號 植物界ニ於ケル「フラヴォン」體ノ研究

理學博士 柴田桂太

帝國學士院賞 第十五、十六號

日本住血吸蟲病ノ研究

醫學博士 桂田富士郎  
醫學博士 藤浪鑑

桂公爵記念賞 第一號 日本經濟叢書

法學博士 瀧本誠一

大正八年五月廿五日

恩賜賞 第十九號 相對性原理萬有引力論及量子論ノ研究

理學博士 石原純

帝國學士院賞 第十七號 漢字ノ研究(古籀篇)

理學博士 高田忠周

同 第十八號 癌ノ研究

醫學博士 山極勝三郎  
獸醫學博士 市川厚一郎

同 第二十號 滿俺青銅其他ノ銅合金及鑄鐵ノ鑄造ニ關スル研究

石川登喜治

大正九年五月三十日

恩賜賞 第二十號 法制史之研究

文學博士 三浦周行

同 第二十一號 脂油ノ研究

工學博士 辻本滿丸

帝國學士院賞 第二十一號 密教發達志

×大村西崖

同 第二十二號 音ノ異常傳播ノ研究

理學博士 藤原咲平

桂公爵記念賞 第二號 臺灣植物ノ研究

理學博士 早田文藏

大正十年五月二十二日

恩賜賞 第二十二號 日本佛教史之研究

文學博士 辻善之助

同 第二十三號 腦ノ解剖的研究

醫學博士 布施現之助

帝國學士院賞 第二十三號 「クモヒデト」ノ研究

理學博士 松本彦七郎

同 第二十四號 日本刀ノ研究

工學博士 俵國一

桂公爵記念賞 第三號 河豚ノ毒素ノ研究

藥學博士 田原良純

大正十一年五月二十一日

恩賜賞 第二十四、二十五號 「スタルク」效果ノ研究

理學博士 高嶺俊夫  
理學博士 吉田卯三郎

帝國學士院賞 第二十五號 生體染色法ニ就テノ研究

同 第二十六號 傳動軸ノ振レ計ノ研究 醫學博士 清野謙次  
工學博士 末廣恭二

大正十二年五月二十七日

恩賜賞 第二十六號 近世日本國民史 德富猪一郎

同 第二十七號 本朝文粹註譯 柿村重松

同 第二十八號 漢藥成分ノ化學的研究 藥學博士 朝比奈泰彦

同 第二十九號 放射線ニ關スル研究 理學博士 木下季吉

大正十三年六月八日

恩賜賞 第三十號 長慶天皇御即位ノ研究 故 文學博士 八代國治

同 第三十一號 蛋白質及之ヲ構成スル「アミノ」酸ノ細菌ニ  
因ル分解ト「アミノ」酸ノ合成ニ關スル研究

醫學博士 佐々木隆興

帝國學士院賞 等二十七號 貨幣ト價值並ニ經濟法則ノ論理的性質

法學博士 × 左右田喜一郎

帝國學士院賞 第二十八號 類脂肪體ノ研究

醫學博士 川村麟也

同 第二十九、三十號 副營養素ノ研究

農學博士 × 鈴木梅太郎

桂公爵記念賞 第四號 大日本金石史

木崎愛吉

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第一號 和鏡聚英續和鏡聚英

廣瀬治兵衛

同 第二號 放射線ノ研究ニ使用スル膨脹器ノ研究

清水武雄

同 第三號 神經組織ノ炭酸發生並ニ炭酸ノ微量測定法ニ關スル研究

醫學博士 田代四郎助

大正十四年五月三十一日

恩賜賞 第三十二號 三階教ノ研究 文學博士 矢吹慶輝

同 第三十三號 構造物ノ振動殊ニ其ノ耐震性ノ研究 工學博士 物部長穂

帝國學士院賞 第三十一號 白鼠ニ關スル研究 畑井新喜司

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第四號 氣體ノ滋氣係數測定

大正十五年五月十六日

理學博士 曾 補 武

恩賜賞 第三十四號 日本紋章學

沼 田 賴 輔

同 第三十五號 中國地方ノ古生層及中生層ノ層位學上ノ研究

理學博士 小 澤 儀 明

帝國學士院賞 第三十二號 メシア思想ヲ中心トシタルイスラヘル

文學博士 石 橋 智 信

同 第三十三號 宗教文化史

文學博士 桑 原 隲 藏

同 第三十四號 元良式船動搖制止裝置ノ研究

工學博士 元 良 信 太 郎

同 第三十五號 オキシダーゼノ組織學的研究

醫學博士 勝 沼 精 藏

同 第三十六號 水銀避雷器ノ研究

工學博士 密 田 良 太 郎

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第五號

熱秤分析法ノ研究

工學博士 齊 藤 平 吉

同 第六、第七號

グイタミンB缺乏症ノ實驗的研究

〔醫學博士 島 方 知 三 郎  
醫學博士 緒 方 知 三 郎〕

同 第八號 數種ノ日本產植物ニ關スル化學的研究

理學博士 小 松 茂

昭和二年五月

恩賜賞 第三十六號 唐宋時代ニ於ケル金銀ノ研究 (但シ其ノ貨幣

的機能ヲ中心トシテ)

文學博士 加 藤 繁

同 第三十七號 金屬錯鹽ノ分光化學的研究

理學博士 柴 田 雄 次

帝國學士院賞 第三十七號 神經ニ於ケル不減衰傳導ニ關スル研究

醫學博士 加 藤 元 一

同 第三十八號 本邦產石油ノ成分並ニ應用ニ關スル研究

工學博士 田 中 芳 雄

授賞事項及當該受賞者

桂公爵記念賞 第五號 朝鮮植物ノ研究

理學博士 中井猛之進

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第九號

特殊鋼ノ物理冶金學的研究

理學博士 村上武次郎

同 第十號 微毒ノ起源ニ就テ

醫學博士 土肥慶藏

昭和三年四月十四日

恩賜賞 第三十八號 租稅研究

法學博士 神戶正雄

同 第三十九號 聯立積分方程式及ビ之ニ關聯  
セル函數論的研究

理學博士 掛谷宗一

帝國學士院賞 第三十九號 日本歌謠史

文學博士 高野辰之

同 第四十號 高速度艦船ニ關スル研究

工學博士 平賀讓

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十一號

本邦產植物ニ含マル、數種ノアルカ  
ロイドニ關スル研究

藥學博士 近藤平三郎

第三十一 藤田男爵獎學費受賞者

(自大正六年略之)  
(至同十五年略之)

昭和二年六月

羅馬法學獎學費

東京帝國大學大學院學生 赤星定義

採鑛冶金學及關係學科獎學費

東京帝國大學大學院學生 志村繁隆

同 理學部學生 神山昌毅

京都帝國大學大學院學生 篠田軍治

第三十二 子爵夫人末松生子羅馬法獎勵獎學品

受品者 (自大正七年略之)  
(至同十五年略之)

昭和二年六月

東京帝國大學法學部法律學科學生

長野野 潔 志鎌一之 赤星定義

小栗銀三 兼子一 高橋實

坂井光三 姫野勝武 福山昇

山本高行 榎野近 勇 流川海太郎

清水 滋 棟近 一 淺井清信

米原 先 西田健一

京都帝國大學大學院及法學部法律  
學科學生

藤田男爵獎學費受賞者 子爵夫人末松生子羅馬法獎勵獎學品受品者 一一五

早稻田大學法學部法律學科學生  
中央大學法學部學生

山岡龍次 龜井秀夫 鷺見昭雄  
福田武 吐山尙明  
白杉政民 片山強 釋尾秀一  
森田直記 杉本一成

第三十三 補助研究事項 (自明治四十一年略之至大正十五年略之)

昭和二年度

|                      |    |       |
|----------------------|----|-------|
| 日本天主教ニ關スル研究          | 會員 | 姉崎正治  |
| インドネシアノ宗教土俗研究        | 會員 | 宇野圓空  |
| 外國人ノ神道研究ニ關スル資料蒐集     | 會員 | 補永茂助  |
| 「テイゲスタ」法典ノ翻譯         | 會員 | 春木一郎  |
| 琉球諸島言語ノ研究            | 會員 | 宮良當壯  |
| 「日本見在書目錄」ノ研究         | 會員 | 神田喜一郎 |
| 阿彌陀佛及淨土變相ニ關スル圖像誌的研究  | 會員 | 津田敬武  |
| ユ帝欽定羅馬法學說彙纂第八卷邦譯註ニ註解 | 會員 | 千賀鶴太郎 |

|                               |    |       |
|-------------------------------|----|-------|
| 日本庭苑發達史ノ研究特ニ九州ニ於ケル徳川時代庭苑遺構ノ研究 | 會員 | 永見健一  |
| 土壤窒素ノ消長ニ關スル研究                 | 會員 | 大杉繁   |
| 昆蟲類ヲ材料トスル遺傳ノ研究                | 會員 | 駒井卓   |
| 紫外光線ト榮養トノ關係                   | 會員 | 鈴木梅太郎 |
| 中國ノ地質構造ト地震                    | 會員 | 小藤文次郎 |
| 飼料作物ノ改料ニ就テ                    | 會員 | 松岡忠一  |
| 本邦石炭ノ顯微鏡的化學的構造研究              | 會員 | 岩崎重三  |
| 酸化鐵ニ依ル炭酸曹達ノ苛性化                | 會員 | 松井元太郎 |
| 卵孵化ノ化學                        | 會員 | 富田雅次  |
| 纖維素エステル                       | 會員 | 喜多源逸  |
| 水素線ノ第二次スタルク効果                 | 會員 | 木内政藏  |
| 空氣中ニ於ケル渦ノ實驗的研究                | 會員 | 西内久光  |
| 生體酸化ニ關スル研究                    | 會員 | 柿内三郎  |
| 本邦産骸炭ノ冶金的性質ノ研究                | 會員 | 常吉剛太郎 |
| 「フルフラール」ヨリ林檎酸ノ製造              | 會員 | 田中清治  |
| 「アミノ」酸無水物ノ分光化學的研究             | 會員 | 藪田貞治  |
|                               | 會員 | 柴田雄一  |
|                               | 會員 | 朝比奈貞一 |



補助研究事項

昆蟲ノ世代ニ及ホス外界ノ影響  
 海蝿ノ「ルシフェリン」及ヒ「ルシフェレリス」理化學的性質ノ研究  
 本邦石油中ノ石炭酸類ノ成分研究  
 シノメニウム及コツクルス屬アルカロイド研究  
 アミノ酸類ノ理論化學的乃至生物化學的研究  
 不銹金屬鍍金ニ就テ  
 アルコール類ノ陽極反應  
 脂肪屬高級炭化水素ノ合成及其ノ分解ニ就テ  
 「ボラログラフ」ニ依ル微量有機化合物ノ電解還元壓ノ研究  
 鉛蓄電池ノ容量減退防止ニ就テ  
 水産動物卵子ノ生物化學的研究  
 多相同期電動機特ニ回轉變流機ノ亂調ニ就テ  
 榮養品ノコロイド化學的研究  
 けし屬植物人工雜種ニ關スル細胞及ヒ遺傳學的研究  
 高壓ニ於ケル絶縁體ノ電導率測定  
 嚼齒類ノ蕃殖ニ關スル研究

柴田文平 神田左京 田中芳雄 近藤平三 高橋學而 渡邊俊雄 松井元興 小松茂三 志方益三 富井六造 芳賀惣治 山澤尙文 熊澤尙文 服部健三 保井コノ 伊藤直 芝田清吾

五經索引ノ作成  
 邦儒ノ四書註釋ノ蒐集及其ノ研究  
 道教ノ研究  
 論語ノ文獻學的研究  
 博多長崎ヲ中心トスル北九州經濟史  
 農業勞働經濟ニ關スル研究  
 不穀類ノ細胞學的並ニ遺傳學的研究  
 土壤生物ニ關スル研究

稻ノ病理學的研究  
 水陸稻ノ生物學的比較研究  
 大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念資金ノ中ヨリ支給スルモノ  
 日本ニ於ケル英學發達ノ歴史  
 老子ノ校正  
 明治以後ニ於ケル普通教育ノ進歩ニ關スル數量的研究  
 地震地方ニ於ケル地盤ノ垂直變動

補助研究事項

會員

森本角藏 關儀一郎 今村完道 藤塚鄰 石濱知行 橋本傳左衛門 香川冬夫 鍋谷外岐 三坂和英 逸見武雄 明峰正夫 豊田實 竹中信以 阿部重孝 今村直方 山崎直方

補助研究事項

小惑星ノ軌道要素ノ修正  
稻ノ結實ト環境トノ關係

小池厚之助寄附資金ノ中ヨリ支給スルモノ

癌腫ノ實驗的研究  
グイタミンノ見地ヨリ尙傷病及骨軟化症ノ研究  
「ハンザキ」(大山根魚)ノ骨格ノ發生  
本邦氣候對本邦家屋ノ衛生學的研究補遺  
微毒ノ實驗的研究  
腎組織中ニ存スル一新「ズルフハターセ」ノ研究  
色素ノ排泄及吸收  
植物性神經系統ノ外科  
生物体ノ超顯微鏡的構造ノ研究  
副營養素ニ關スル研究  
所謂骨端炎ノ實驗的研究  
各種毒物ノ中樞神經ニ及ホス影響

會員

平山清次  
佐々木喬

會員

山極勝三郎  
川村麟也  
森於菟  
戸田正三  
松本信一  
前田鼎  
松尾巖  
伊藤弘  
舟岡省五  
鈴木文助  
神中正一  
高田光造  
下良武光  
鈴木直光

潜函病ノ研究

非經口的ニ注入セル細胞成分ノ生體ニ及ホス影響ニ關スル研究 (所謂直接作用ノ現象ニ關スル研究)  
血液成分調節作用ニ關スル研究

眞鍋嘉一郎

昭和三年度

日本天主教に關する研究  
阿彌陀佛及淨土變相に關する圖像誌的研究  
日本庭苑發達史の研究特に九州に於ける維新前庭苑遺構の調査  
琉球諸島言語の研究  
學習動作の實驗的型式的研究特に秩序化過程の型式と其の分化  
朝鮮の方言研究  
マハーバストの研究  
平安朝時代の日記の研究  
安土桃山時代に於ける耶蘇會年報の翻譯及び研究  
江戸時代中期以後に於ける諸藩の學校及私塾の研究  
近世支那文化の我國に及ぼせる影響の研究

會員

姊崎正治  
津田敬武  
永見建一  
宮良當壯  
小野島左右雄  
小倉進平  
本村泰賢  
平村通昭  
松本愛重  
村上直次郎  
西田直二郎  
中村久四郎

補助研究事項

補助研究事項

中世に於ける瀬戸内海海賊の歴史的研究

帶狀スメクトルの研究

嚼齒類の蕃殖に關する研究

輕金屬の電解精製

低溫度に於ける有機液体の熱力學的恒數測定

植物体に於けるX線放射に由來するネオプラズマ(予の謂ふ)

X線腫瘍の組織分化に關する研究

不妊症に關する實驗的研究

纖維素エステルに關する研究

高級脂肪屬炭化水素の合成と分解

故ナウマン氏のフォッサ、マグナ(主に信濃國)中部の構造地質學的展開

ボーラログラフに依る微量有機化合物の電解還元歴研究

余等が考案せる心臟灌流法による心臟自動機の藥理學的研究

朝鮮淡水魚類の研究

結合血糖の研究

植物細胞による電解質並に非電解質の吸收に就て

會員

- 長沼賢海 高嶺俊夫 芝田清吾 龜山直人 箕作新六 小室英夫 岡林秀一 喜多源逸 小川松茂 志方益三 大谷信三 森藤爲三 飯塚直彦 坂村徹

コンステリン代謝に關する研究

北部日本に於ける氣候的土壤帶に就て

副腎よりのアドレナリン分泌に就きての研究

アミノ酸類の理論化學乃至生化學的研究

九州の港灣に於ける波浪の研究

太氣の波浪に就て

貪血の研究特にその成立機轉に就て

蝦蟇及び熊の膽汁酸の化學的構造の研究

多相同期電動機特に回轉變流機の亂調に就て

本邦内種々の氣候に適應せる梨樹品種の果實の化學的及組織學的研究

家畜内臟寄生蟲の研究

日本に於ける吸血性昆蟲の研究

含水炭素の抗原性に就て

アミノ酸屬合成研究

補助研究事項

- 柿内三衛郎 鬼澤仁三 三宅康次 田町以信 佐武安太郎 高橋學而 伊藤徳之助 鈴木清太郎 小宮悦造 清宮皓三 清水竹次 上村竹次 熊澤尙文 立花千秋 板垣四郎 山田信一 佐藤武雄 佐藤定則 菅原重彦

シノメニウム及コツクルス屬植物含有のアルカロイド研究  
急性腸閉塞に關する研究

松方公爵米壽祝賀會寄附資金ノ中ヨリ支給スルモノ

五經索引の作成  
農業勞働經濟に關する研究  
博多長崎を中心とする北九州經濟史  
三禮並に支那國民性支那社會組織に就きて (支那留學)  
土壤生物に關する研究  
禾穀類の細胞學的並に遺傳學的研究  
稻の病理學的研究  
土壤の礦物學的及地質學的研究  
水陸稻の生物學的比較研究  
稻の開花に對する外界の影響に就て  
大阪毎日新聞東京日日新聞寄附資金ノ中ヨリ支給スルモノ  
明治以後に於ける普通教育の進歩に關する數量的研究

近藤平三郎  
鹽倉三郎

森本角藏

橋本傳左工門

石濱知行

崎山宗秀

鍋木外岐

三谷正和

香川冬夫

逸見武雄

中尾清藏

明峰正夫

野口彌吉

阿部重孝

會員

會員

豊田實

山崎直方

今村明恒

平山清次

駒井卓

佐々木喬

會員

山極勝三郎

松村憲

足立丈夫

金關丈太郎

舟岡省五

戸室正三

外教員一

松尾巖

伊藤弘

鈴村保治

濱村文治

富田雅次

麻醉の本態に關する研究  
血液成分調節作用に關する研究  
人類及哺乳獸ノ口蓋發生

〔外加〕 藤元 一名  
阿部 勝 二  
井上 通 夫

第三十四

有栖川宮記念獎學資金受領者トシテ高松宮家へ補助推薦ノ研究事項

昭和二年六月推薦

社寺及民間ニ於ケル御歴代宸翰ノ調査及研究

〔相〕 岩田 二 美助太郎  
辻 橋 善 彌  
黒板 勝之

同 十二月推薦

日本人ノ性格ノ差異的並ヒニ發達的研究

〔淡〕 路 彌 太郎

第三十五

東照宮三百年祭記念會へ補助推薦ノ研究事項

事項

(自大正五年略之至同十五年略之)

昭和二年一月推薦

臺灣史出版

江戸時代ニ於ケル庶民教育ニ就テノ研究

定常狀態ニアル原子ノ磁場内ニ於ケル運動ニ關スル實驗

鑄鐵ニ關スル研究

膽石症及膽道疾患ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究

電氣探鏡法ニ就テ

腸閉塞ニ關スル研究

昭和三年二月推薦

農村社會生活ノ統計的研究

源氏物語諸註集成

秩父古生層中ノ石炭層ノ研究

溫度測定法

膽石症及膽道疾患ニ關スル臨床並ニ實驗的研究

東照宮三百年祭記念會へ補助推薦ノ研究事項

一二七

故伊能嘉矩

石川謙生

渡邊扶生

谷村熙

〔松〕 尻 同 巖

〔外〕 藤田 義象

〔齊〕 藤田 正 意重

那須皓

〔藤〕 村 經 一 鑑作

〔西〕 下田 經 龜 一

德永重康

〔宗〕 宮 尙 行

〔松〕 尾 學生 同 巖

光ト膠質トノ關係ニ就テ  
邦樂音階ノ研究

堀場 信吉  
正路 倫之助

第三十六 帝國學士院前役員

(×印ハ死亡者)

院長

自明治三十九年八月  
至同 四十二年六月

文學博士 男爵 ×加藤 弘之

自明治四十二年七月一日  
至大正 六年八月二十日

理學博士 男爵 ×菊池 大麓

自大正 六年十月二十日  
至同 十四年十月十二日

法學博士 男爵 ×穗積 陳重

自大正十四年十一月十七日  
至同 十四年十二月二十三日

法學博士 男爵 ×岡野 敬次郎

幹事

自明治三十九年八月  
至同 四十二年六月

文學博士 ×重野 安釋

自明治四十二年七月  
至大正 二年七月

法學博士 ×宮崎 道三郎

自大正二年七月十一日  
至同十五年二月十七日

理學博士 櫻井 錠二

第一部々長

自明治三十九年七月十二日  
至大正 六年十月二十日

法學博士 男爵 ×積 積 陳重

自大正六年十一月廿四日  
至同十五年十一月十八日

文學博士 井上 哲次郎

第二部々長

自明治三十九年八月  
至同 四十二年六月

理學博士 男爵 ×菊池 大麓

自明治四十二年七月一日  
至大正 十年六月三十日

工學博士 男爵 古市 公威

自大正十年七月一日  
至同十三年六月三十日

理學博士 藤澤 利喜太郎

出版委員長

自大正 二年七月十一日  
至同 十五年二月十七日

理學博士 櫻井 錠二

第三十七 帝國學士院前會員及客員 (×印ハ死亡者)

一 前會員

自明治三十九年六月十二日  
至同 四十年八月十四日

子爵 ×福羽 美靜

帝國學士院前會員及客員

帝國學士院前會員及客員

自明治三十九年六月十二日  
至同年八月三十日  
自明治三十九年六月十二日  
至同年十月三日  
自明治三十九年六月十二日  
至同年十二月廿二日  
自明治三十九年六月十四日  
至同年二月十八日  
自明治三十九年三月十四日  
至同年三月十一日  
自明治三十九年六月十二日  
至同年九月十七日  
自明治三十九年八月十四日  
至同年八月廿五日  
自明治三十九年六月十二日  
至同年十二月六日  
自明治三十九年六月十二日  
至同年九月十五日  
自明治四十一年二月廿六日  
至同年九月六日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正元年十月五日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正元年十二月十三日

文學博士 × 黑川真賴  
文學博士 × 根本通明  
理學博士 山川健次郎  
醫學博士 子爵 × 橋本綱常  
文學博士 × 佐藤誠實  
理學博士 × 箕作佳吉  
法學博士 × 梅謙次郎  
文學博士 × 重野安釋  
男爵 × 大鳥圭介  
工學博士 × 下瀨雅允  
法學博士 × 穗積八東  
文學博士 × 元良勇次郎

自明治三十九年九月十四日  
至大正二年二月十五日  
自明治三十九年六月十二日  
至大正二年四月十四日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正二年五月廿六日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正二年二月二日  
自明治三十九年六月十二日  
至大正二年二月九日  
自明治三十九年六月十二日  
至大正二年六月廿二日  
自明治三十九年八月二十日  
至大正二年八月二十日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正二年九月十日  
自明治三十九年六月十二日  
至大正二年十二月四日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正二年二月廿四日  
自明治四十一年八月四日  
至大正七年四月七日  
自明治三十九年九月十四日  
至大正七年十二月廿一日

文學博士 × 本居豐穎  
文學博士 × 木村正辭  
理學博士 × 坪井正五郎  
醫學博士 × 三浦守治  
文學博士 男爵 × 加藤弘之  
男爵 × 田中芳男  
理學博士 男爵 × 菊池大麓  
文學博士 × 星野恒  
法學博士 × 杉享二  
醫學博士 男爵 × 青山胤通  
醫學博士 × 隈川宗雄  
文學博士 × 中島力造

帝國學士院前會員及客員

|              |      |    |   |   |
|--------------|------|----|---|---|
| 自明治三十九年六月十二日 | 文學博士 | ×三 | 島 | 毅 |
| 至大正八年五月十二日   | 醫學博士 | ×緒 | 方 | 正 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 醫學博士 | ×松 | 崎 | 藏 |
| 至大正八年十一月廿八日  | 法學博士 | ×久 | 原 | 躬 |
| 自明治三十九年九月十四日 | 理學博士 | ×高 | 橋 | 作 |
| 至大正八年十一月廿一日  | 法學博士 | ×高 | 橋 | 作 |
| 自明治四十二年四月九日  | 文學博士 | ×末 | 松 | 謙 |
| 至大正九年十月六日    | 文學博士 | ×末 | 松 | 謙 |
| 自明治三十九年九月十四日 | 理學博士 | ×飯 | 島 | 魁 |
| 至大正十年三月十四日   | 法學博士 | ×岡 | 松 | 參 |
| 自明治四十一年五月廿六日 | 法學博士 | ×岡 | 松 | 參 |
| 至大正十年十二月十五日  | 工學博士 | ×高 | 峰 | 讓 |
| 自大正二年六月廿二日   | 工學博士 | ×井 | 口 | 在 |
| 至大正十年七月廿二日   | 工學博士 | ×井 | 口 | 在 |
| 自明治四十二年四月廿二日 | 文學博士 | ×細 | 川 | 潤 |
| 至大正十二年二月廿五日  | 文學博士 | ×細 | 川 | 潤 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 文學博士 | ×細 | 川 | 潤 |
| 至大正十二年七月二十日  | 文學博士 | ×寺 | 尾 | 壽 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 文學博士 | ×寺 | 尾 | 壽 |
| 至大正十二年八月六日   | 文學博士 | ×寺 | 尾 | 壽 |

|              |      |    |   |   |
|--------------|------|----|---|---|
| 自明治三十九年九月十四日 | 法學博士 | ×田 | 尻 | 稻 |
| 至大正十二年八月十五日  | 理學博士 | ×大 | 森 | 房 |
| 自明治三十九年九月十四日 | 文學博士 | ×萩 | 野 | 由 |
| 至大正十二年十一月八日  | 文學博士 | ×萩 | 野 | 由 |
| 自大正五年四月二十一日  | 法學博士 | ×岡 | 野 | 敬 |
| 至大正十四年二月廿三日  | 法學博士 | ×岡 | 野 | 敬 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 法學博士 | ×穗 | 積 | 陳 |
| 至大正十五年四月八日   | 法學博士 | ×穗 | 積 | 陳 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 文學博士 | ×井 | 上 | 哲 |
| 至大正十五年十一月十八日 | 文學博士 | ×井 | 上 | 哲 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 醫學博士 | ×大 | 澤 | 謙 |
| 至昭和二年一月十日    | 醫學博士 | ×大 | 澤 | 謙 |
| 自大正四年三月廿四日   | 文學博士 | ×芳 | 賀 | 矢 |
| 至昭和二年二月六日    | 文學博士 | ×芳 | 賀 | 矢 |
| 自明治三十九年九月十四日 | 文學博士 | ×南 | 條 | 文 |
| 至昭和二年十一月九日   | 文學博士 | ×南 | 條 | 文 |
| 自明治三十九年九月十四日 | 文學博士 | ×大 | 槻 | 文 |
| 至昭和四年三月二十八日  | 文學博士 | ×大 | 槻 | 文 |
| 自明治三十九年六月十二日 | 法學博士 | ×宮 | 崎 | 道 |
| 至昭和三年四月十八日   | 法學博士 | ×宮 | 崎 | 道 |

二 前 客 員



自明治三十九年六月廿七日  
至同 四十九年六月廿七日

×ギユスターヴ、ポアンナード、ド、フォンタラビー

### 第三十八 元東京學士會院役員

(×印ハ死亡)

#### 會長

自明治十二年一月  
至同年 六月

×福澤諭吉

自明治十二年六月 至同 十三年十二月  
自明治十五年六月 至同 十九年六月

×西周

自明治十三年十二月 至同 十五年六月  
自明治十九年六月 至同 二十九年八月  
自明治三十一年一月 至同 三十九年八月

文學博士 男爵 ×加藤弘之  
法學博士 ×細川潤次郎

#### 副會長

自明治十四年九月  
至同 十五年六月

×西周

自明治十五年六月  
至同 十八年六月

×神田孝平

#### 幹事

自明治十八年六月  
至同 十九年六月

×加藤弘之

自明治十九年六月  
至同 十九年六月

×神田孝平

自明治十九年六月  
至同 二十年九月

×箕作秋坪

自明治二十年九月  
至同 二十年九月

×大鳥圭介

自明治二十年九月  
至同 二十六年十二月

×細川潤次郎

自明治二十九年八月  
至同 二十九年八月

文學博士 ×重野安釋

自明治二十六年十二月  
至同 三十一年十二月

×杉享二

自明治三十一年十二月  
至同 三十三年四月

文學博士 ×外山正一

自明治三十三年四月  
至同 三十八年十二月

理學博士 男爵 ×菊池大麓

自明治三十八年十二月  
至同 三十八年十二月

×田中芳男

### 第三十九 元東京學士會院會員及客員

一會員

|              |             |         |     |    |
|--------------|-------------|---------|-----|----|
| 自明治十二年一月十五日  | 至同三十年二月一日   | 男爵      | ×西  | 周  |
| 自明治十二年一月十五日  | 至同三十九年六月十二日 | 文學博士 男爵 | ×加藤 | 弘之 |
| 自明治十一年七月十五日  | 至同三十二年七月十五日 | 男爵      | ×神田 | 孝平 |
| 自明治二十五年一月十五日 | 至同二十六年十月十五日 | 男爵      | ×津田 | 真道 |
| 自明治二十五年十二月一日 | 至同三十二年九月三日  | 文學博士    | ×中村 | 正直 |
| 自明治二十一年一月十五日 | 至同二十四年六月七日  | △       | △   | △  |
| 自明治十二年二月十五日  | 至同十四年二月十五日  | △       | △   | △  |
| 自明治十二年一月十五日  | 至同十九年十二月三日  | △       | △   | △  |
| 自明治二十二年七月廿八日 | 至同二十二年七月十九日 | ×杉田     | 玄端  | 坪  |
| 自明治十五年三月廿九日  | 至同十五年三月廿九日  | ×內田     | 五觀  | 觀  |
| 自明治十二年三月十五日  | 至同三十年三月六日   | ×栗本     | 鋤雲  | 雲  |
| 自明治十二年八月廿六日  | 至同十二年八月廿六日  | ×市川     | 兼恭  | 恭  |

|              |              |         |     |     |
|--------------|--------------|---------|-----|-----|
| 自明治二十一年二月十五日 | 至同三十四年一月二十四日 | 理學博士 男爵 | ×伊藤 | 圭介  |
| 自明治三十五年八月十八日 | 至同三十九年六月十二日  | 文學博士    | ×西村 | 茂樹  |
| 自明治三十五年五月十五日 | 至同三十九年六月十二日  | 男爵      | ×細川 | 潤次郎 |
| 自明治十四年二月十五日  | 至同三十九年六月十五日  | 文學博士    | ×小幡 | 篤次郎 |
| 自明治二十九年五月十四日 | 至同三十九年六月十二日  | 文學博士    | ×重野 | 安釋  |
| 自明治十二年六月十五日  | 至同十四年一月十五日   | 文學博士    | ×川田 | 剛   |
| 自明治二十二年六月十五日 | 至同二十二年二月十二日  | 子爵      | ×福羽 | 美靜  |
| 自明治三十三年三月十五日 | 至同三十年十二月一日   | 子爵      | ×森  | 有禮  |
| 自明治十四年五月十五日  | 至同十五年十月五日    | 法學博士 男爵 | ×鷺津 | 宣光  |

自明治十四年六月十一日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治十四年十一月七日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治十五年六月六日  
至同 三十八年十月十一日  
自明治十五年十一月七日  
至同 二十三年一月十日  
自明治十八年九月十六日  
至同 二十六年六月七日  
自明治十八年九月十六日  
至同 三十九年五月廿三日  
自明治十八年十一月十五日  
至同 二十五年七月廿七日  
自明治十八年十一月十五日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治十八年十二月十五日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治十八年十一月十五日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治二十年二月十三日  
至同 三十三年三月八日  
自明治二十二年四月十四日  
至同 三十九年六月十二日

男爵 × 大 鳥 圭 介  
文學博士 × 黑 川 眞 賴  
文學博士 × 小 中 村 清 矩  
○ 伯爵 × 村 上 英 俊  
○ 伯爵 × 寺 島 宗 則  
子爵 × 谷 干 城  
文學博士 × 原 坦 山  
文學博士 × 三 島 毅  
醫學博士 × 田 中 芳 男  
文學博士 × 外 山 正 一  
理學博士 男爵 × 菊 池 大 麓

自明治二十二年十月十三日  
至同 二十八年二月十八日  
自明治二十三年六月八日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治二十五年一月十日  
至同 三十一年八月廿七日  
自明治二十八年五月一日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治二十九年一月十二日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治二十九年五月十日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十年五月九日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十一年二月十三日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十一年四月十七日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十一年十二月十一日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十二年二月十二日  
至同 三十九年六月十二日  
自明治三十三年一月十四日  
至同 三十九年六月十二日

× 岡 松 甕 谷  
文學博士 × 木 村 正 辭  
文學博士 × 島 田 重 禮  
文學博士 井 上 哲 次 郎  
醫學博士 × 大 澤 謙 二  
醫學博士 × 穗 積 陳 重  
法學博士 × 穂 積 陳 重  
理學博士 × 箕 作 佳 吉  
醫學博士 × 緒 方 正 規  
理學博士 櫻 井 錠 二  
法學博士 × 宮 崎 道 三 郎  
理學博士 小 藤 文 次 郎  
文學博士 × 根 本 通 明

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| 自明治三十九年六月三十日<br>至同三十九年六月十二日  | 文學博士 坪井九馬三 |
| 自明治三十四年五月六日<br>至同三十九年六月十二日   | 理學博士 山川健二郎 |
| 自明治三十五年十二月十四日<br>至同三十九年六月十二日 | 醫學博士 小金井良精 |
| 自明治三十六年十二月十三日<br>至同三十九年六月十二日 | 理學博士 ×寺尾壽  |

二 客 員

自明治二十八年四月廿五日  
至同三十九年六月十二日

×ギユスターヴ、ボアソナード、ド、フォンタラビー

(△ハ文部大輔ヨリ會員報帖ヲ交付セラレシ者、○印ハ勅選ニ係ル者其他ハ會長ヨリ報帖ヲ交付セラレシ者、×印ハ死亡ノ者)

第四十 昭和三年四月十四日第十八回授賞式  
ニ於ケル櫻井院長ノ演説

本院の年中行事として最も光輝あるものは授賞式であります。而して本日第十八回授賞式を舉行するに當り宮内大臣、内閣總理大臣、文部大臣諸閣下を初めとし各位の御來臨を辱ふしたることは本院の大なる光榮とする所でありまして、茲に一同に代り

謹て深厚なる謝意を表します。

本日の受賞者は、恩賜賞法學博士神戸正雄、理學博士掛谷宗一、帝國學士院賞文學博士高野辰之、工學博士平賀讓、大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞藥學博士近藤平三郎の諸君であります。今授賞の目的物となつたる其の著書又は研究に就いて詳細の説明は御手許にある印刷物に之を譲ることゝ致しまして、茲に其の要點のみを述べますならば

神戸博士の「租稅研究」なる著書は内容廣汎、材料豊富、且所論周到にして而もよく理論と實際との調和を保ち、極めて公正の態度を以て租稅及租稅制度に關する諸問題を綜合的に研究したるものであり、

掛谷博士の「聯立積分方程式及び之に關聯せる函數論的研究」は從來歐米諸國の數學者が容易に解決を得ること態はざりし問題を解決し、而も之に依て數學上の研究に一の新生面を開き從來相互的關係なきものとして取扱はれたる幾多の問題に之を應用して諸學者の研究の結果を統一したものであり、

高野博士の「日本歌謠史」なる著書は古代より近世に至る我邦歌謠の發達及び其の

形式の變遷を歴史的に叙述し、豊富なる材料と細密なる研究とに依り從來の斷片的又は概説的著作と異なりて歌謠全般に亘り組織的に之を詳述したるものであり、

平賀博士の「高速度艦船に關する研究」は徹底的研究に依り高速度艦船の寸法、形狀、構造等に獨創的設計を施し以て其の速度を極度に増加し、而も從來に比し重き砲を据附るも尙艦船の安定度及び縦強度を損することなきを得て造船學上一時代を劃するものであり、

近藤博士の「本邦産植物に含まるゝ數種のアルカロイドに關する研究」はシノメニウム屬及びコックルス屬植物中より多數の新アルカロイドを發見し之が化學的研究を遂行して人知の増進に貢獻する所頗る多く、更に漢藥苦參中のマトリンに關し其の化學的構造の解決に多大の光明を與へたるものであります。

右は何れも本院授賞規則第二條の明文にある成績卓絶なるものでありまして、此の如き有益なる著書又に研究に對して授賞を行ひ、此の如き優秀なる成績を擧げられたる勤勉篤學の士の功績を表彰することは本院規程第一條の目的に最もよく副ひ、之に依り學術の發達と教化の進運とに貢獻する所頗る大なるものあるべきは信じて疑はざ

る所であります。而も此の授賞は獨り受賞者諸君の名譽であるのみならず、實に本邦學界の一大慶事として茲に滿腔の祝意を表します。

學術の研究を獎勵し其の發達を促進する爲、本院に於きましては授賞を行ふ外、尙毎年研究費を補助することに相成つて居りまして、昭和三年度に於ては百數十件の補助申込中より七十件を採定して之に補助を與ふることになりました。此の如く一面に於ては授賞を行ふて優秀なる著書又は研究を表彰し、他の一面に於ては補助金を與へて有益なる研究の達成を圖ることを得るは、第一に皇室の優渥なる思召に依る所でありまして感激の至に堪へざる所であります又第二には篤志家諸士の御好意御援助に依る所でありまして茲に謹で感謝の意を表します。皇室御下賜金及篤志家諸士の寄附金並に之に依り本院が行ふ所の事業の詳細は「學術研究獎勵資金並に之に依る事業便覽」と題せる小冊子に就て御一覽を願ひます。

尙東照宮三百年祭記念會の依頼に依り、同會より補助金を受くべき研究事項は本院之を選定して同會に推薦することは從來通りでありますが、更に高松宮家に於かせられましては有栖川宮記念として學術獎勵資金を設けられ、同資金受領候補者の選定方

を本院に御依頼が有りました、有りがたく御請申上たる次第であります。而して既に昨年七月及び本年一月の二回に高松宮家に於て同資金の授與が行はれましたが、其の詳細は東照宮三百年祭記念會獎學事業に關する事項と共に是亦本院の事業便覽に就て御一覽を願ひます。

更に一言申上たきは本院の歐文記事に關することであります。去る大正十四年以來八九兩月を除き、毎月會員其の他の研究に係る學術報告を掲載したる歐文記事を刊行して之を廣く世界の學術機關に配布し以て幾分なりと我邦の學術を海外に紹介することに努めて居ります。而して同記事に掲載すべき報告は本院例會に於て必らず之を發表することに相成つて居りますので、每會十數件多きは二十件以上の研究發表がありますが、豫算不足の爲其の全部の記事に掲載することを得ず又は僅に其の概要を掲ぐるに止めざるを得ざる現状であることは本院の甚だ遺憾とする所であります。此の點に關しては文部大臣閣下の特別なる御配慮を仰ぎたく此の機會に於て御願ひを致して置たいとす。

### 第四十一 本院會館工事概要

#### 一 規 模

敷地坪數 一、〇〇〇坪

本館建坪 二〇二坪 (附屬門衛所 一一坪)

地下室及屋上階共に五層にして各階坪數左の如し

地下室 七三坪 一階及二階 各二〇二坪

三階 一三四坪 屋上階 五四坪二五

合 計 六六五坪二五

本館延長、 東西と南北と各一八間

本館高さ、 中央部 五六尺、 兩翼及背部 四九尺

#### 一 構 造

本館構造は鐵筋コンクリート造にして、屋根はコンクリートスラブ上に防水層を施し砂利敷とし、外壁は腰廻り萬成産花崗石、上部日の出石貼付、及モルタル塗仕上とし、附屬家は鐵筋コンクリートブロック造、外部モルタル塗仕

上とす

一 工事設計及施工

營繕管財局

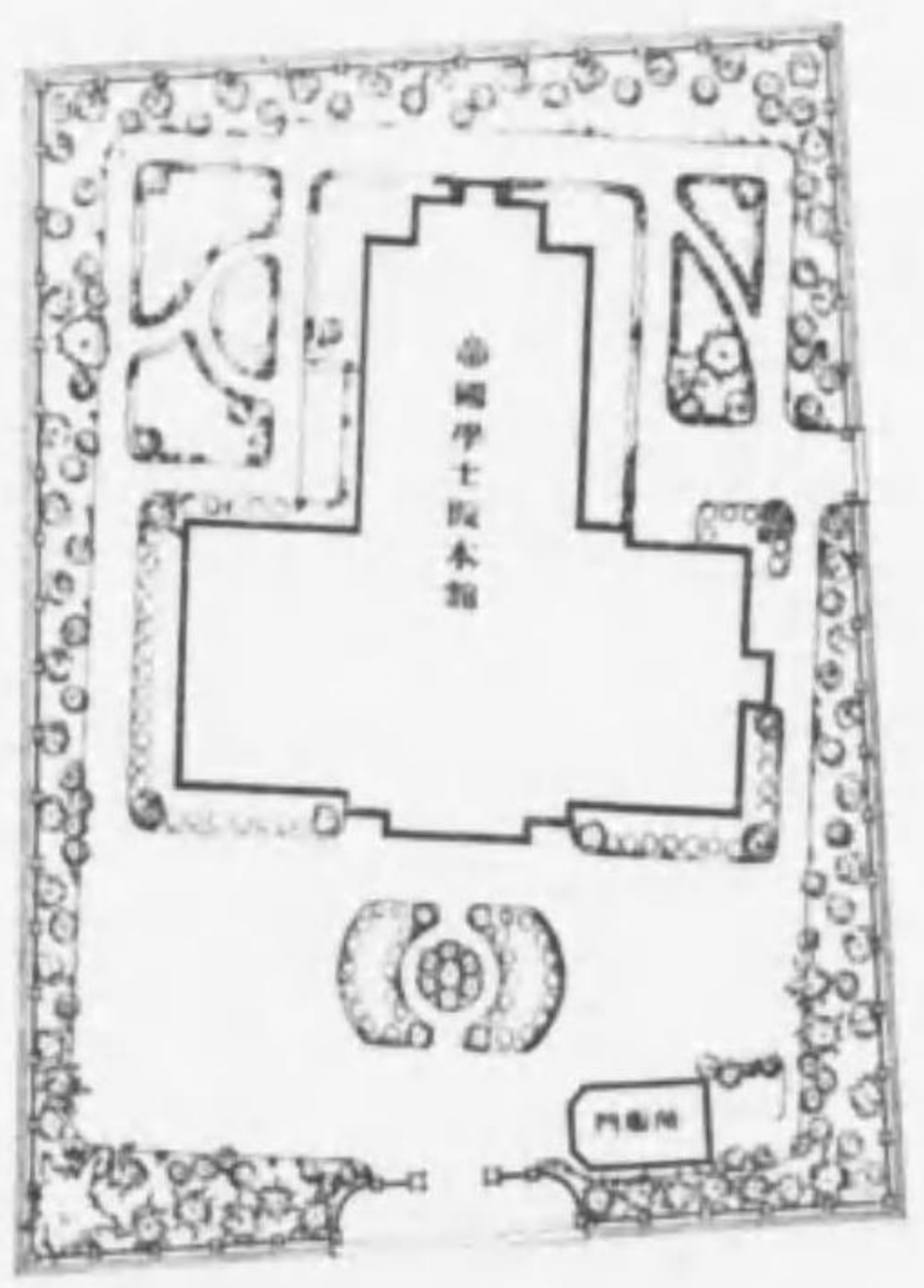
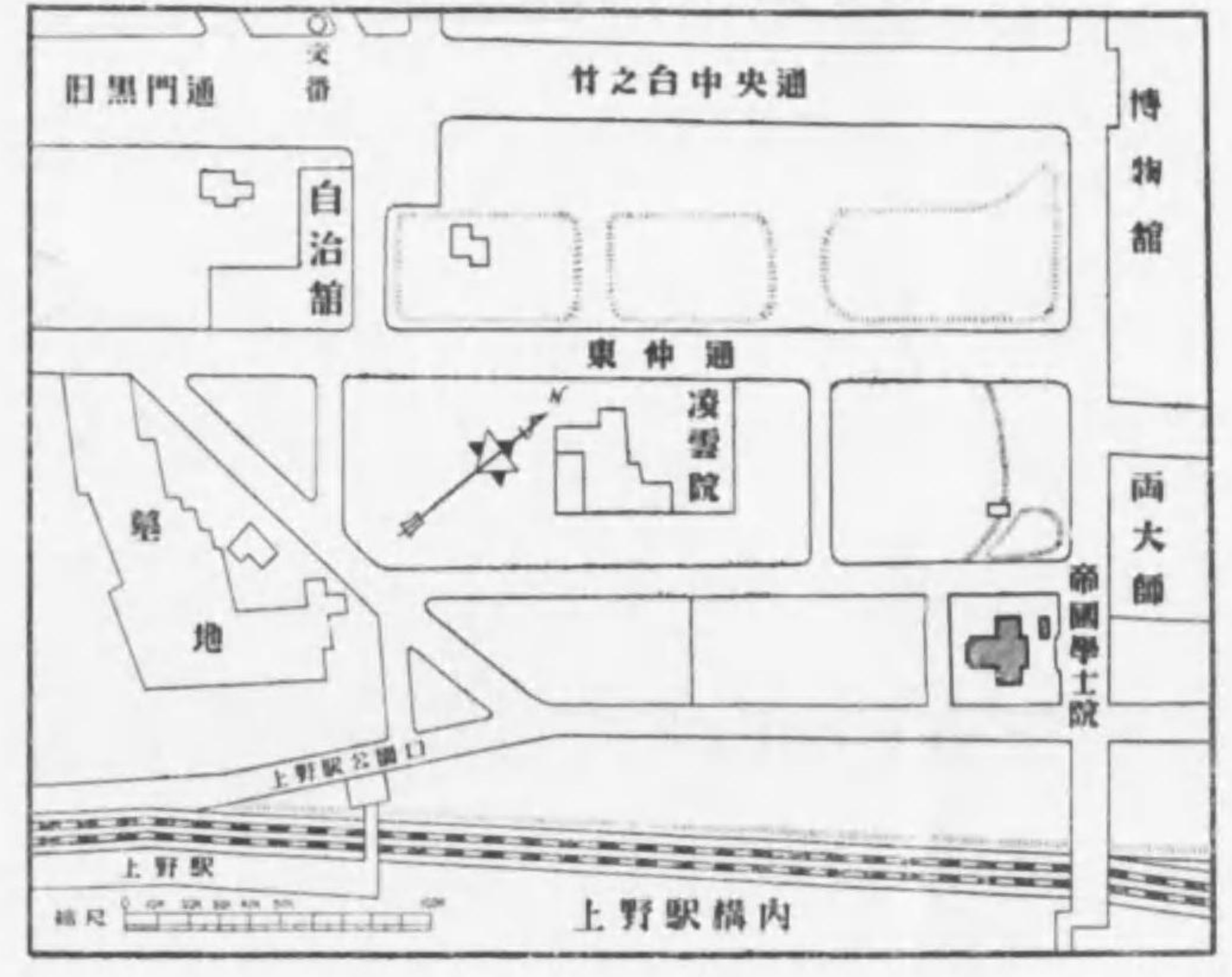
本工事は當初文部省建築課に於て設計起工し、大正十四年四月營繕管財局へ移管せられ、多少の設計變更をなせり。

一 工 事

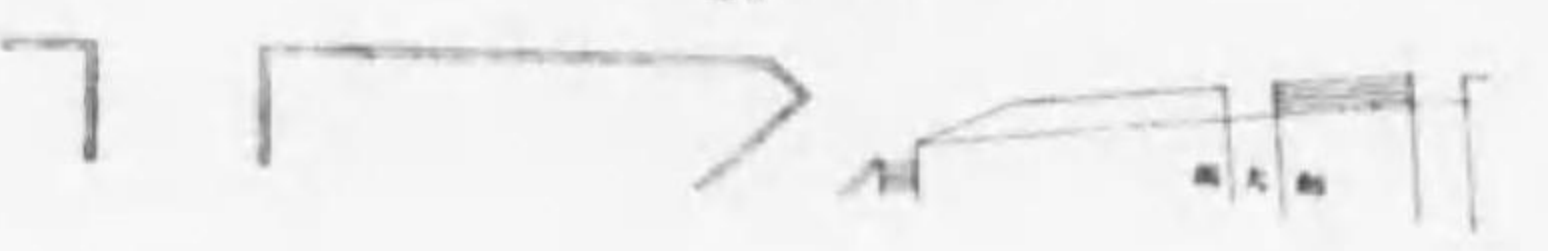
大正十三年十二月起工、大正十五年九月竣工

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

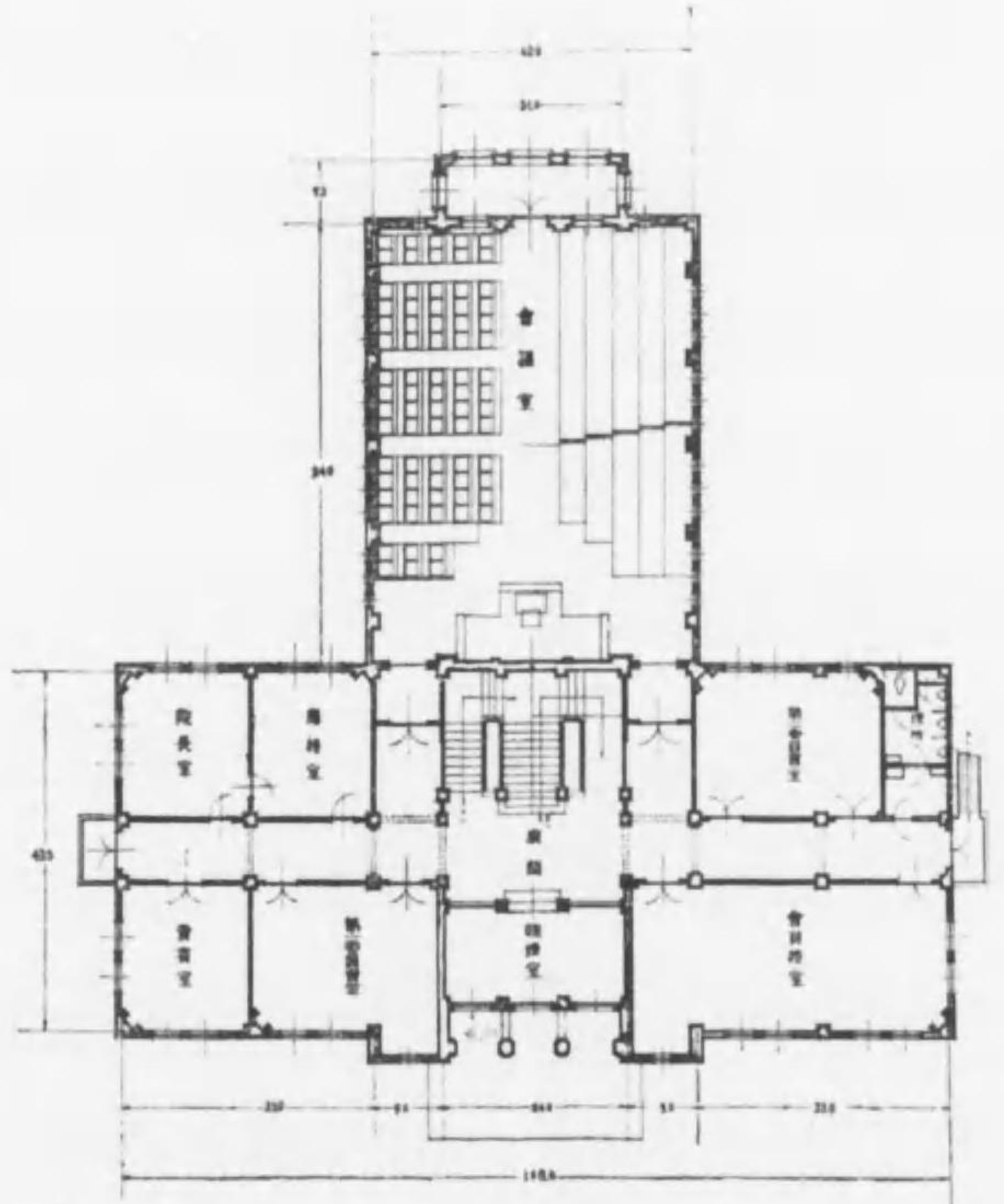
帝國學士院附近略圖



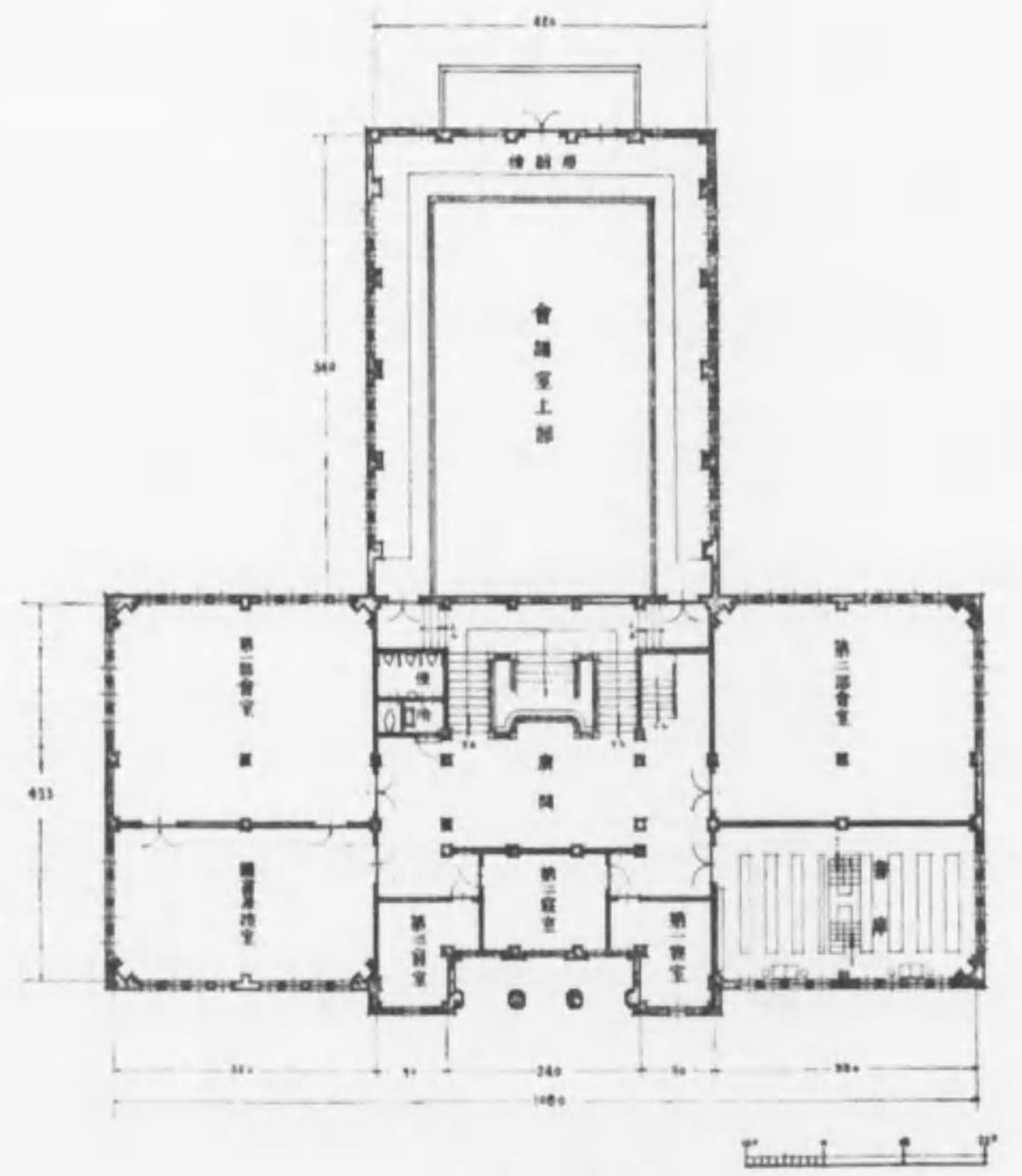
帝國學士院配置圖



一階平面圖



二階平面圖



三階平面圖



昭和三年五月

東京市下谷區上野公園地

帝國學士院

電話  
下谷 四〇番

昭和三年  
帝國學士院名簿

(昭和三年五月調)

97-392



|       |       |                  |       |       |       |
|-------|-------|------------------|-------|-------|-------|
| 一     | 一     | 一                | 一     | 一     | 一     |
| 事業職員  | 事務職員  | 學術研究奨励<br>資金運用委員 | 出版委員  | 客員    | 役員    |
| ..... | ..... | .....            | ..... | ..... | ..... |
| 一八    | 一七    | 一六               | 一四    | 一八    | 二     |



目次

院 寄贈本

名簿正誤表

|       |         |    |         |              |    |    |         |    |   |   |    |    |    |
|-------|---------|----|---------|--------------|----|----|---------|----|---|---|----|----|----|
| 一八    | 一四      | 一四 | 一二      | 一二           | 一一 | 一一 | 一〇      | 一〇 | 八 | 七 | 五  | 四  | 真行 |
| 一所    | 六       | 三  | 三       | 二            | 八  | 六  | 四       | 三  | 六 | 三 | 五  | 七  | 正誤 |
| 木、四三五 | Charles | 勳二 | Zaノ次ニハ脱 | (小石川六六八〇)チ加フ | 荏原 | 伊東 | Kiノ次ニハ脱 | 丞  | 磐 | 多 | 正四 | 吉田 |    |
| ト改ム   | Charles | 勳三 |         |              | 豊多 | 伊藤 |         | 丞  | 盤 | 太 | 從四 | 古田 |    |

帝國學士院

役員

|       |        |            |      |
|-------|--------|------------|------|
| 院長    | 正三位勳一等 | 理學博士       | 櫻井錠二 |
| 幹事    | 正四位勳二等 | 文學博士       | 姊崎正治 |
| 第一部部長 | 正三位勳一等 | 法學博士<br>男爵 | 富井政章 |
| 第二部部長 | 正三位勳一等 | 醫學博士       | 佐藤三吉 |

(昭和三年五月始調)

會員 (第一部)

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 正三位勳二等<br>文學博士<br>Kumazo Tsuboi    | 坪井九馬三<br>彌本郷、向ヶ三<br>(小石川二、五四〇)         |
| 正三位勳一等<br>男 法學博士<br>Masakira Tomii | 富井政章<br>牛込、市ヶ谷<br>藥王寺、七一谷<br>(牛込二、一一二) |
| 正三位勳一等<br>法學博士<br>Yasushi Hijioka  | 土方寧<br>麴町、一番、四七<br>(九段 四〇五)            |
| 從二位勳一等<br>法學博士<br>Kitokuro Ikki    | 一木喜徳郎<br>本郷、駒込曙、七<br>(小石川 七七七)         |
| 正三位勳一等<br>文學博士<br>Ka-utoshi Ueda   | 上田萬年<br>小石、笈籠、一六一<br>(小石川四、六七六)        |
| 正三位勳二等<br>文學博士<br>Sanji Mikami     | 三上參次<br>本郷、駒込林、<br>一、六、九<br>(小石川四、六〇〇) |
| 正三位勳一等<br>法學博士<br>Noboru Kanai     | 金井延<br>豊多、戸塚<br>源兵衛、一九一<br>(牛込 一八五)    |

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 從三位勳二等<br>法學博士<br>Tatsukichi Minobe   | 美濃部達吉<br>小石、竹早、一二四<br>(小石川 八八〇)          |
| 從三位勳二等<br>文學博士<br>Junjiro Takakusu    | 高楠順次郎<br>小石、關口臺、五<br>(牛込 七八八)            |
| 從四位勳二等<br>法學博士<br>Kakujiro Yamazaki   | 山崎覺次郎<br>小石、原、一二六<br>(小石川 五九〇)           |
| 從三位勳二等<br>文學博士<br>Unokichi Hattori    | 服部宇之吉<br>豊多、戸塚<br>諏訪、一八三<br>(牛込二、三六〇)    |
| 從三位勳二等<br>法學博士<br>Kihеiji Onozuka     | 小野塚喜平次<br>小石、小日向臺<br>二、ノ、三、六<br>(小石川 二二) |
| 從四位<br>文學博士<br>Sensho Murakami        | 村上專精<br>小石、林、三一<br>(小石川 三二一)             |
| 從三位勳二等<br>法學博士<br>Yorozu Oda          | 織田萬<br>京、都、下、鴨<br>松ノ木、一八<br>(上京一、九九六)    |
| 正三位勳二等<br>文學博士<br>Kurakichi Shiratori | 白鳥倉吉<br>荏原、上、日黒<br>宿山、一、五七五              |

從三位勳二等 文學博士 松本文三郎 京都、上京 (上京三、五三六)  
 Bunzaburo Matsumoto  
 從三位勳二等 法學博士 春木一郎 本郷、駒込西片、七  
 Teihiro Haruki  
 正四位勳二等 法學博士 立作太郎 荏原、六崎 (高輪 一〇九)  
 Sakutarō Tsuchi  
 從三位勳二等 文學博士 松本亦太郎 小石、小日向臺 (小石川三、〇〇五)  
 Matataro Matsumoto  
 從四位勳四等 法學博士 福田德三 豊多、中野 (四谷一、一一九)  
 Tokuzo Fukuda  
 正四位勳二等 文學博士 姊崎正治 小石、白山御殿 (小石川二、〇二六)  
 Masaharu Anesaki  
 正三位勳二等 法學博士 田島錦治 京都、上京 (上京一、〇一一)  
 Kinji Tajima  
 從三位勳二等 文學博士 市村瓊次郎 豊多、八戸塚  
 Sanjiro Teimura

從三位勳三等 文學博士 三宅米吉 小石、原、一〇三 (小石川三、一五四)  
 Yonekichi Miyake  
 正三位勳一等 法學博士 横田秀雄 豊多、中野 (四谷一、一一三)  
 Hideo Yokota  
 正三位勳二等 農學博士 新渡戸稻造 小石、小日向臺 (小石川二、八五〇)  
 Inazo Nitobe  
 正五位勳三等 德富猪一郎 荏原、大森 (高輪 二)  
 Fichiro Tokutomi  
 從四位勳三等 文學博士 狩野直喜 京都、上京 (上京 二四一)  
 Naoki Kano  
 從三位勳二等 文學博士 大塚保治 牛込、市ヶ谷 (牛込 三〇二)  
 Yasuji Otsuka  
 正三位勳一等 法學博士 安達峰一郎 L'Ambassade du Japon  
 Aneiteiro Adatei 24 Rue Greux, Paris (1<sup>er</sup>)  
 從三位勳二等 法學博士 山田三良 牛込、辨天、一七二 (牛込一、五六二)  
 Saburo Yamada

從四位勳二等 法學博士 加藤 正治 麴町、元園、一ノ二 (九段 九三〇)

正四位勳三等 法學博士 Masaharu Kato

高野 岩三郎 大阪、天王寺 大原社會問題研究所  
Iwasaburo Takano 伶人、二四

正四位勳三等 文學博士 吉田 靜致 豊多、千駄ヶ谷  
Seichi Yoshida 九〇

從四位勳三等 文學博士 瀧 精一 荏原、上大崎 (高輪二、二七六)  
Seichi Taki 西谷、二六六

正四位勳二等 文學博士 桑木 嚴翼 牛込、北、三四 (牛込三、三〇九)  
Genyoku Kuwaki 麻布、弁、一四〇 (青山五、六九九)

正四位勳三等 法學博士 中田 薰 荏原、調布、上 (田園調布 六)  
Kaoru Nakada 沼部、二〇五

正四位勳三等 法學博士 松本 烝治 京都府下  
George Matsumoto 相樂郡瓶原村

正四位勳三等 文學博士 内藤 虎次郎

Torajiro Naito

從三位勳二等 法學博士 清水 澄 四谷、愛住、六三 (四谷二、五七〇)  
Toru Shimizu 牛込、中、一七 (牛込七、二三〇)

從三位勳二等 法學博士 松波 仁一郎 京都市上京區  
Niihiro Matsumami 田中飛鳥井三二

正四位勳三等 文學博士 西田 幾太郎 豊多、千駄ヶ谷 (青山一、六三〇)  
Kitaro Nishida 五、六

正四位勳三等 法學博士 矢作 榮藏 小石川、表町七九 (小石川二、〇三六)  
Yeizo Yahagi 小石川

文學博士 幸田 成行 京都上京區小山  
Shigeonuki Kōta 中溝、一、九

正四位勳二等 文學博士 新村 出 本郷、駒込動坂 (小石川 八二六)  
Izuru Shimamura 二

正四位勳一等 法學博士 高田 早苗

Saenye Takata

會員 (第二部)

|        |      |                   |                       |
|--------|------|-------------------|-----------------------|
| 正四位勳二等 | 醫學博士 | 三宅 秀              | 小石、竹早、八一 (小石川 二六六)    |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 櫻井 錠二             | 本郷、駒込曙、一六 (小石川 七五一)   |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 小藤 文次郎            | 牛込、二十騎、二 (牛込 二、七二〇)   |
| 正三位勳一等 | 醫學博士 | 小金井 良精            | 本郷、駒込曙、一六 (小石川 三、五〇五) |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 長井 長義             | 豊多、澁谷、金玉二 (青山 二六一)    |
| 正三位勳二等 | 工學博士 | 古市 公威             | 常盤、松下、澁谷 (青山 一)       |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 田中 館愛橘            | 小石、雜司ヶ谷 (牛込 六、五〇二)    |
|        |      | Aikitu Tanakadate |                       |

|        |      |               |                       |
|--------|------|---------------|-----------------------|
| 正三位勳二等 | 醫學博士 | 北里 柴三郎        | 麻布、仲ノ、一九 (芝 二、七〇九)    |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 藤澤 利喜太郎       | 鎌倉町、長谷入地              |
| 正三位勳一等 | 醫學博士 | 三浦 謹之助        | 神田、駿河臺 (神田 二、七一九)     |
| 正三位勳二等 | 理學博士 | 長岡 半太郎        | 下谷、上一野 (下谷 五、三五四)     |
| 正三位勳一等 | 理學博士 | 松村 任三         | 本郷、駒込曙、一六 (小石川 六、三七〇) |
| 正三位勳二等 | 理學博士 | 中村 精男         | 牛込、南、三三 (牛込 一、五九〇)    |
| 正三位勳一等 | 醫學博士 | 佐藤 三吉         | 小石、鴛籠、二二九 (大塚 六八)     |
| 從三位勳一等 | 理學博士 | 平山 信          | 麻布、永坂、一 (青山 五、五二四)    |
|        |      | Shin Hirayama |                       |



正三位勳一等 理學博士 石川千代松 四谷、大番、一九（四谷四、〇二八）  
 從三位勳二等 醫學博士 Chiyoumatsu Ishikawa 鳥取市一七  
 Hayazo Ito 伊藤隼三  
 正三位勳二等 理學博士 水野敏之丞 京都、上京、三、四一二）  
 Toshinojo Mizuno 塔ノ段櫻木町  
 正三位勳二等 理學博士 池田菊苗 麹町、富士見、（九段二、一二一）  
 Ki unae Ikeda 五  
 正三位勳二等 醫學博士 山極勝三郎 本郷、駒込、西片  
 Katsushuro Yamagiwa 一〇、ろ、一  
 正三位勳二等 理學博士 三好學 本郷、駒込、西片  
 Manabu Miyoshi 一〇、に、一五（小石川一、七三三）  
 從三位勳二等 醫學博士 荒木寅三郎 京都、上京、萬里小  
 Torasaburo Araki 路近衛上ル官舎（上京一、四〇〇）  
 正三位勳二等 理學博士 佐々木忠次郎 赤坂、青山南、（青山二五七）  
 Chujiro Sasaki 六、一、二〇

從四位勳三等 理學博士 本多光太郎 仙臺、米ヶ袋（一、六七六）  
 Kotaro Honda 鹿ノ子清水、二一  
 從三位勳二等 工學博士 高松豊吉 本郷、駒込（小石川九六〇）  
 Toyokichi Takamatsu 西片、一三  
 正三位勳二等 醫學博士 宮入慶之助 福木屋町、二一  
 Keinosuke Miyairi 樹木屋町、二一  
 正五位勳四等 醫學博士 野口英世 The Rockefeller Institute for Medical  
 Hideyo Noguchi Research, New York City. U. S. A.  
 正三位勳二等 藥學博士 田原良純 豊多、中野、上町（四谷六一一）  
 Yshizunui Tahara 二、六、三一  
 從三位勳二等 工學博士 伊藤忠太 本郷、西片、（小石川一、〇五〇）  
 Chuta Ito 一〇と、八  
 從三位勳二等 理學博士 岸上鎌吉 麹、一番、二九ノ二（九段一、三一五）  
 Kamakichi Kishinouye 池尻、世田ヶ谷  
 正四位勳二等 農學博士 吉川祐輝 豊多、世田ヶ谷（青山八〇七）  
 Suiketaru Kikukawa 池尻、二二八

正四位勳二等 理學博士 丘 淺次郎 牛込、河田、一七（牛込四、九六〇）  
 Asajiro Oka  
 正四位勳二等 理學博士 中 村 清二 小石、指ヶ谷、五九  
 Seiji Nakamura  
 從三位勳二等 理學博士 山 崎 直方 小石、大塚窪、四五（小石川 八三六）  
 Na.masa Yamasaki  
 從四位勳二等 理學博士 今 村 明 恒 豐多、大久保、四八（四谷一、三一七）  
 Akimune Imamura  
 正四位勳三等 理學博士 木 村 榮 岩手縣水澤町  
 Hisashi Kimura 緯度觀測所官舎  
 從三位勳二等 工學博士 俵 國 一 小石、駕籠、二三二（大塚 三二六）  
 Kuniechi Tawara  
 從三位勳二等 理學博士 田 丸 卓 郎 本郷、駒込曙、一一（小石川 七〇一）  
 Takuro Tamaru  
 正四位勳二等 農學博士 鈴木梅太郎 豐多、澁ヶ谷、  
 Umetsuro Suzuki 宇田川、三八（青山一、三九八）

正五位勳三等 理學博士 平 山 清次 麻布、新龍土、一二  
 Kiyotsugu Hirayama  
 從三位勳二等 理學博士 高 木 貞治 本郷、駒込曙、二四（小石川一、五四三）  
 Teiji Takagi  
 從四位勳四等 理學博士 寺 田 寅彦 本郷、駒込曙、  
 Torahiko Terada 二四ノ七（小石川三、〇九七）  
 從四位勳四等 理學博士 矢 部 長 克 仙臺、國分、二〇（ 三二三）  
 Hisakatsu Yabe  
 從四位勳三等 理學博士 藤 原 松三 郎 仙臺、二本杉（ 二、二四二）  
 Matusaburo Fujiwara  
 正四位勳二等 理學博士 小 川 琢 治 京都、上京塔ノ  
 Takuji Ogawa 段毘沙門、四六一（上 京一、九〇八）  
 正四位勳三等 理學博士 眞 島 利 行 仙臺、米ヶ袋中  
 Riko Majima 坂通、三、六（ 一、八八五）  
 從三位勳二等 理學博士 池 野 成 一 郎 豐多、千駄ヶ谷  
 Saichiro Ikeno 元原宿、八九

從四位勳三等 工學博士

末廣恭二

小石川、駕籠、(大塚 二九〇)

正四位勳二等 理學博士

吉江琢兒

北豊多、武藏野村  
吉祥寺一九九六

正四位勳三等 醫學博士

稲田龍吉

二本郷、三弓、(小石川三七〇〇)

客員

サー・チャールズ エリオット

ロンドン、セント  
ゼームス、クラブ

Sir Charles Eliot,

G. C. M. C., D. Litt.,  
LL. D., D. C. L.,

出版委員

委員長 文學博士

姊崎正治

宗教學哲學

編纂主任 醫學博士

三浦謹之助

醫學

同 理學博士

長岡半太郎

物理學

同 法學博士

福田徳三

經濟學

委員 理學博士

平山信

天文學

同 法學博士

美濃部達吉

法學

同 理學博士

石川千代松

動物學

同 文學博士

高楠順次郎

言語學

同 文學博士

松本亦太郎

心理學哲學

同 農學博士

吉川祐輝

農學

同 理學博士

山崎直方

地理、地質學

- 同 理學博士 今村 明恒 地球物理學
  - 同 工學博士 俵 國一 工學
  - 同 農學博士 鈴木梅太郎 生物化學
  - 同 理學博士 高木 貞治 數學
- 學術研究獎勵資金運用委員
- 委員長 文學博士 姊崎 正治 住所電話前出
  - 委員 法學博士 富井 政章 同
  - 同 醫學博士 佐藤 三吉 同
  - 同 法學博士 山崎覺次郎 同

- 同 法學博士 加藤 正治 同
  - 同 工學博士 俵 國一 同
  - 同 法學博士 矢作 榮藏 同
  - 同 文部省會計課長 木村 正義 麴、土手三番、一三（九段一、六二八）
- 事務職員

- 書記 文部屬兼東京商大事務官 佐原 茂一 麴町、元衛、一文部省構内官舎（九ノ内 一五）
- 同 學術研究會議書記兼文部屬 濱 利雄 豊多、野方下沼袋一二九
- 同 同 金坂 周次 下谷區、上野公園地、帝國學士院内（下谷 四〇）
- 囑託從六位 飯沼 守麿 千葉、寒川新宿、一三、六、二

同

山鹿規夫

豐多、大久保  
百人、二〇七

同

市橋靜子

豐多、西大久、六

菊地之恒

府下吉祥寺  
四、四、八

津田虎雄

南足立、千三住  
中組一〇三

事業職員

和算史調査部員

囑託

岡本則錄

北豊島、西巢鴨、  
池袋、九四八

猪俣一三

木郷、根岸片、  
一四、大道方

帝室制度史調査部員

囑託

文學博士

和田英松

市外、千駄ヶ谷  
五、三、八

同

文學博士

山本信哉

府下、淀橋、  
角筈七二五

同

田邊勝哉

赤坂、高樹、  
一四ノ六號

同

淺野長武

本郷、向ヶ岡彌生、  
三 (小石川 三、六三五)

同

諸橋轍次

北豊島、高田  
雜司ヶ谷、三三八

同

龍肅

小石、中富坂一九

同

芝葛盛

市外、下萩窪、  
一

同

黒井大圓

市外、松澤村  
四 (萩窪 二三六)

同

藤原猶雪

小石、久堅、三七

同

高橋隆 一二

市外、高田、大字  
雄司ヶ谷、四五二

同

武田政一

北豊島、長崎、西向  
二五六六、森山方

我國卜歐洲諸國卜ノ交通資料調査部員

囑

託 文學博士

村上直次郎

北豊島、長崎 (小石川二、〇七四)

北畠親房及其ノ子孫ノ事蹟調査部員

囑 託

伊木壽一

本郷、駒込千駄木  
五

昭和三年五月

東京市下谷區上野公園地 (兩大師前)

帝國學士院

電話下谷 (83) 四〇番

私設電話

- 一番 本院事務室
- 二番 學研事務室
- 三番 二階會議室
- 四番 三階會議室

昭和三年度

(昭和三年四月調)

學術研究獎勵資金  
并ニ其二依ル事業便覽

|   |        |
|---|--------|
| 乞 | 研究費補助  |
| 回 | 獎學費ニ關  |
| 覽 | スル重要事項 |

帝國學士院

| 正誤表     |     |
|---------|-----|
| 頁       | 行   |
| 六       | 三   |
| 九       | 六   |
| 九       | 一〇  |
| 一       | 三   |
| 二       | 六   |
| 二       | 三   |
| 二       | 三   |
| 三       | 一   |
| 終リヨリ    | 一   |
| 終リヨリ    | 二   |
| 終リヨリ    | 二   |
| 五三、二〇〇圓 | 獎學費 |
| 五三、二〇〇圓 | 館   |
| 五三、二〇〇圓 | 直人  |
| 五三、二〇〇圓 | 志方  |
| 五三、二〇〇圓 | 金關  |
| 五三、二〇〇圓 | 舟岡  |
| 五三、二〇〇圓 | 獎勵費 |
| 五三、二〇〇圓 | 館   |
| 五三、二〇〇圓 | 龜人  |
| 五三、二〇〇圓 | 方志  |
| 五三、二〇〇圓 | 金岡  |
| 五三、二〇〇圓 | 舟田  |
| 五三、二〇〇圓 | 圓   |

學術研究獎勵資金并ニ其二依ル事業便覽

目次

凡例……………一

皇室御下賜金ノ一……………一

皇室御下賜金ノ二……………一

寄附金……………三

(一)男爵三井八郎右衛門寄附金……………三

(二)菱合資會社寄附金……………三

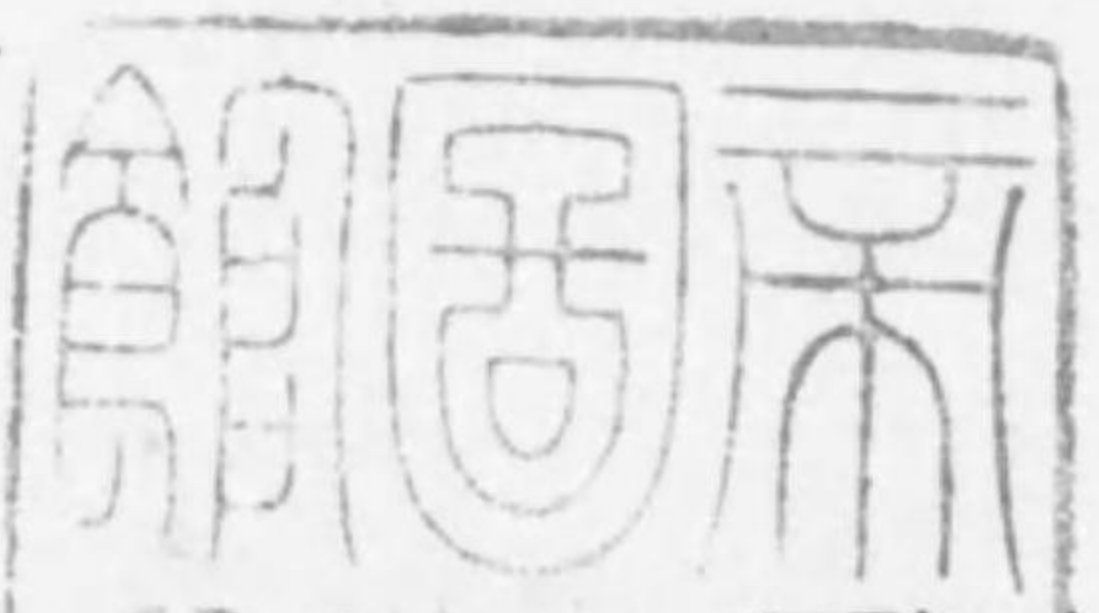
(三)工學博士藥學博士高峰讓吉寄附金……………四

(四)男爵佐友吉左衛門寄附金……………四

(五)男爵古河虎之助寄附金……………四

(六)男爵藤田平太郎寄附金……………五

(七)三井合名會社寄附金……………六



院寄贈本

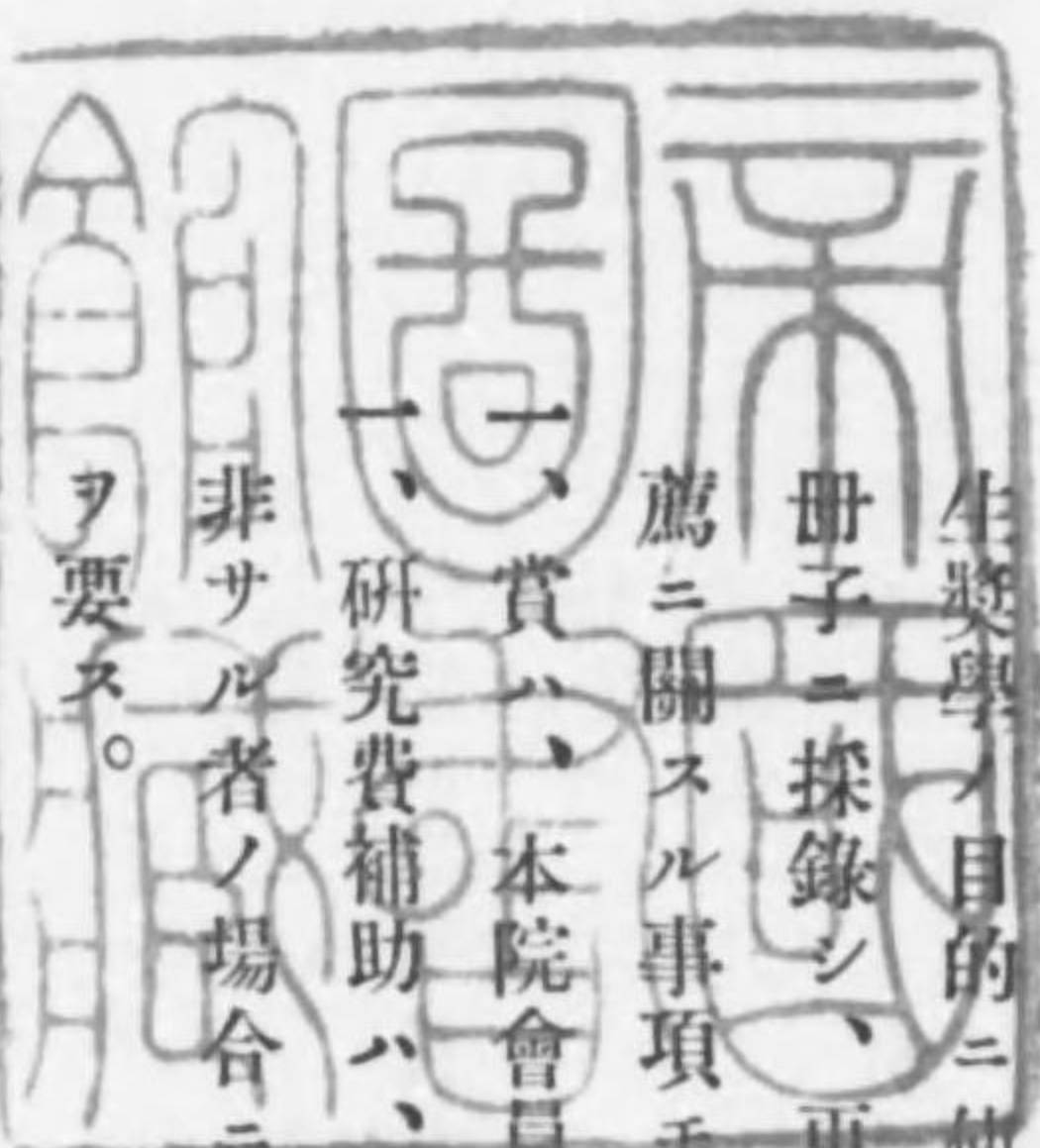


|                  |       |    |
|------------------|-------|----|
| (八)山下龜三郎寄附金ノ一    | ..... | 一六 |
| (九)山下龜三郎寄附金ノ二    | ..... | 一七 |
| (一〇)故桂公爵記念事業會寄附金 | ..... | 一七 |
| (一一)子爵夫人末松生子寄附金  | ..... | 一八 |
| (一二)松方公爵米壽祝賀會寄附金 | ..... | 一〇 |
| 同追加寄附金ノ一         | ..... | 一一 |
| 同追加寄附金ノ二         | ..... | 一一 |
| (一三)財團法人原田積善會寄附金 | ..... | 一二 |
| (一四)高峰保善株式會社寄附金  | ..... | 一二 |
| (一五)三共株式會社寄附金    | ..... | 一三 |
| (一六)大阪毎日新聞社長寄附金  | ..... | 一三 |
| (一七)メンデンホール寄附金   | ..... | 一四 |
| (一八)小池厚之助寄附金     | ..... | 一五 |
| 同追加寄附金           | ..... | 一六 |

|                  |       |    |
|------------------|-------|----|
| (一九)岡野節寄附金       | ..... | 一六 |
| 同追加寄附金           | ..... | 一六 |
| (二〇)小津清左衛門寄附金    | ..... | 一七 |
| (二一)中澤つる寄附金      | ..... | 一七 |
| (二二)昭和三年度研究費補助事項 | ..... | 一七 |
| 附 錄              | ..... | 二四 |
| 有栖川宮記念學術獎勵資金     | ..... | 二四 |
| 東照宮三百年祭記念會獎學事業   | ..... | 二五 |

凡 例

一、本院ニ於ケル學術研究獎勵資金ニシテ、賞又ハ研究費補助ニ充ツヘキモノト、學生獎學ノ目的ニ使用スヘキモノトヲ問ハス、之ニ關スル事項ハ、總テ其ノ要領ヲ本冊子ニ採録シ、更ニ高松宮家及東照宮三百年祭記念會ノ委囑ニ係ル研究費補助ノ推薦ニ關スル事項モ、亦之ヲ本冊子ニ附記ス。



賞ハ、本院會員ノ推薦ニ依リ、會員ニ非サル者ニ之ヲ授ク。

一、研究費補助ハ、本院會員タルト否サルトニ拘ラス、一般ニ之ヲ與フ、但シ會員ニ非サル者ノ場合ニ於テハ、會員又ハ官公私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦アルコトヲ要ス。

一、研究費補助ノ推薦書ニハ、研究者ノ氏名及職名、研究題目、研究事項ノ概要、所要ノ補助金額及其ノ用途細目ヲ明記シ、又繼續補助ノ要否ニ拘ラス、審査上參考トナルヘキ既成研究ノ報告ハ之ヲ推薦書ニ添附スヘシ。

一、既ニ研究費補助ヲ受ケタル者ニシテ、之カ繼續ヲ要スル場合ニハ、補助ヲ受ケタ

ル研究ノ経過報告ヲ申込書ニ添へ、毎年新ニ研究者ヨリ直接本院ニ提出スヘシ。

一、研究費補助ヲ受ケタル者ハ、研究結了後直ニ其ノ成績報告ヲ提出スルコトヲ要ス、但シ研究數年ニ渉ル場合ニハ、毎年十二月末日迄ニ研究ノ進行ニ關スル報告ヲ提出スヘシ。

一、補助ヲ受ケタル研究ノ成績ヲ發表スルトキハ、補助ヲ受ケタル旨ヲ明記シ、且ツ本院補助ニ依リ出版セラレタルモノハ、必ス一部本院へ寄贈スルコトヲ要ス。

一、學生ニ獎學費若クハ獎學品ヲ授與スルハ、官公私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル。

一、推薦書ハ凡テ院長ニ宛テ、且左ノ區別ニ依リ期日迄ニ本院ニ到達スル様、之ヲ送附スルコトヲ要ス、

研究費補助ニ關スルモノ

本院ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

毎年十二月末日

高松宮家ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

同 十月末日

東照宮三百年祭記念會ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

同 十二月末日

獎學費若クハ獎學品授與ニ關スルモノ

同 五月末日

一、研究費補助ノ繼續ヲ要スル場合ノ申込書ハ、前項ノ區別ニ從ヒ夫々其ノ期日迄ニ之ヲ提出スルコトヲ要ス。

一、本院ノ推薦ニ依リ、高松宮家及東照宮三百年祭記念會ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタル場合モ、其ノ研究報告ヲ毎年十二月中ニ、高松宮家及東照宮三百年祭記念會へ提出スヘシ。

一、前項報告書ハ、本院ヲ通シテ提出スルコトヲ要ス。

一、推薦書様式ハ申込ニヨリ送附ス。

昭和三年四月

注 意

前項提出時期中十二月末日トアル分ハ、成ルヘク十二月二十日迄ニ提出セラレンコトヲ希望ス

學術研究獎勵資金并  
ニ其ニ依ル事業便覽

(昭和三年度)

皇室御下賜金ノ一

皇室ヨリ、學術獎勵ノ思召ヲ以テ、明治四十三年以降十箇年間、年々金貳千圓ヲ下賜セラレ、引續キ大正九年以降十箇年間、年々金貳千圓ヲ下賜セラレタルモノニシテ、賞典資ニ充ツ。

右御下賜金ヲ以テセル恩賜賞ハ、昭和二年度ニ於テ左ノ通授與セリ。

唐宋時代ニ於ケル金銀ノ研究(但シ其ノ貨幣的機能ヲ中心トシテ) 文學博士 加藤 繁

金屬錯鹽ノ分光化學的研究 理學博士 柴田雄次

皇室御下賜金ノ二